

液晶ディスプレイ

# 取扱説明書

**MultiSync®**  
**LCD-WD551**

# 目次

---

ご使用の前に .....	日本語-1
安全のために必ず守ること .....	日本語-2
主な特長 .....	日本語-10
付属品 .....	日本語-11
設置 .....	日本語-12
設置の概要 .....	日本語 -12
設置（お客様へ） .....	日本語 -14
設置（設置業者様へ） .....	日本語 -14
各部の名称 .....	日本語-17
コントロールパネル .....	日本語 -17
ターミナルパネル .....	日本語 -18
リモコン .....	日本語 -19
リモコンの使用範囲 .....	日本語 -20
電源ランプ .....	日本語 -20
アクティブペン .....	日本語 -21
充電器 .....	日本語 -22
接続 .....	日本語-23
配線図 .....	日本語 -23
コンピューターと各種機能の接続 .....	日本語 -24
USB Type-C でコンピューターに接続 .....	日本語 -24
HDMI でコンピューターに接続 .....	日本語 -24
USB 機器との接続 .....	日本語 -24
LAN でネットワークに接続 .....	日本語 -25
入力検出機能 .....	日本語 -26
コンピューターのサウンド設定について .....	日本語 -26
動作モード .....	日本語 -27
On Screen Display (OSD)機能 .....	日本語-28
外部制御 .....	日本語-33
接続インターフェース .....	日本語 -33
RS-232C リモートコントロール .....	日本語 -34
LAN コントロール .....	日本語 -35
ファームウェア更新 .....	日本語-36
故障かな？と思ったら… .....	日本語-37
仕様 - 対応信号 .....	日本語-41
対応信号一覧 .....	日本語 -41
仕様 - WD551 .....	日本語-42
リサイクルに関する情報 .....	日本語-43

# ご使用前に

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI - B

## お知らせ

VCCIに関するご説明文中で、「この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、」という記述をしておりますが、これは本機がVCCIクラスBというより厳しい基準に適合させていることから、協議会から指定された文章を記述したものであり、本機は住宅環境での使用を目的とはしておりません。

## ⚠ 注意

添付のケーブルを使用してください。

USB Type-C、HDMI、USB、D-Sub 9ピンはシールドタイプを使用してください。これ以外のタイプのケーブルを使用した場合、受信障害の原因となることがあります。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

Microsoft、Windows、および Microsoft Teams は、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface という語、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。

**HDMI**<sup>®</sup>  
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

DisplayPort および DisplayPort ロゴは、Video Electronics Standards Association の米国その他の国・地域における商標または登録商標です。

USB Type-C<sup>®</sup> および USB-C<sup>®</sup> は USB インプリメンターズ・フォーラムの登録商標です。

MultiSync はシャープ NEC ディスプレイソリューションズ株式会社の登録商標です。

その他の社名および商品名は、各社の商標および登録商標です。



## 本製品に含まれる GPL/LGPL 等適用ソフトウェアのライセンスについて

本製品には GNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL) その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアに関する詳細は、当社 Web サイトをご確認ください。

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
- (2) 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気付きの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 本書に記載されている画像およびイラストは参考用のため、実際と異なる場合があります。
- (5) 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では (3) 項および (4) 項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。



グリーンマーク

JIS C 0950 (通称 J-Moss) とは、電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法を規定した日本工業規格です。特定の化学物質 (鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE) の含有状況により、次の 2 種類の表示マークがあります。

- ・含有マーク：特定の化学物質が含有率基準値を超える製品に付与するマーク
- ・グリーンマーク：同化学物質が含有率基準値以下 (但し除外項目あり) である製品にメーカーが任意で表示することができるマーク

本製品に表示されているマークは、グリーンマークです。

製品の情報は、<https://www.nec-display.com/environment/j-moss.html> をご覧ください。

## お知らせ 液晶ディスプレイに関するご注意

液晶ディスプレイは、精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや常時点灯しているドットが見えることがあります。これは、液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。本製品のドット抜けの割合は 0.0002% 以下です。

本製品は、ISO9241-307 基準に従い、ドット抜けの割合基準値は 1 サブピクセル (副画素) 単位で計算しております。

【注】一般的な言い方として「画素」を「ドット」という言葉で表現しておりますが、ISO9241-307 に従い、正確に表現すると、「画素」は「ピクセル (pixel)」、「ドット」は「副画素」とも呼ばれ「サブピクセル (sub pixels)」となります。つまり、「画素」は実体のある副画素と言われる発光する点から構成され、「副画素」は、画素に色または階調を与えるもので、一つの画素内で個別に処理される分割された画素内部構造を示します。

# 安全のために必ず守ること

この取扱説明書に使用している表示と意味は次のようになっています。

誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の家財に損害をあたえたりすることがあります。

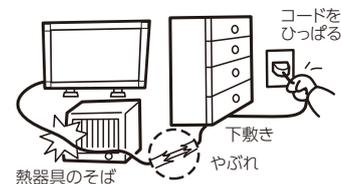
図記号の意味は次のとおりです。

	▲ 記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⊘ 記号はしてはいけないことを表しています。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	● 記号はしなければならないことを表しています。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

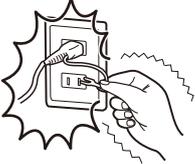
●ご使用前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。

## 警告

1	 プラグを抜く	<p><b>故障したときは電源プラグを抜く</b></p> <p>本機から煙が出ている、変なにおいがする、変な音がする場合や、本機を落としたりキャビネットを破損した場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となるだけでなく、視力障害の原因になります。販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。</p>
2	  分解禁止  修理・改造禁止	<p><b>裏ぶたを外さない、修理・改造をしない</b></p> <p>内部には電圧の高い部分があり、さわるとけが・火災・感電の原因となります。修理の場合は販売店へお問い合わせください。</p>
3	 使用禁止	<p><b>ぐらつく、またはスタンド部にひびや亀裂がある場合は近づかない</b></p> <p>本機が転倒してけがの原因となることがあります。お買い上げの販売店か、工事専門業者にご連絡ください。</p>
4	 傷つけ禁止	<p>電源コードを傷つけない 電源コードは大切に取り扱いってください。コードが破損すると、火災・感電の原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● コードの上に重い物をのせない</li> <li>● コードを本機の下敷きにししない</li> <li>● コードの上を敷物などで覆わない</li> <li>● コードを傷つけない、加工しない</li> <li>● コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない</li> <li>● コードを加熱しない</li> </ul> <p>電源コードが破損した場合（芯線の露出・断線など）は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に交換をご依頼ください。</p>
5	 接触禁止	<p><b>雷が鳴り出したら、電源コードなどには触れない</b></p> <p>雷が鳴り出したら電源コードなどには触れないでください。感電の原因となります。</p>
6	 禁止	<p><b>添付されているもの以外の電源コードは使用しない</b></p> <p>本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用できません。</p>
7	 指示	<p><b>正しい電源電圧で使用する</b></p> <p>日本国内専用です。</p> <p>指定の電源電圧以外で使用すると火災・感電の原因となります。一般のご家庭のコンセント（AC100 V）でお使いいただくための電源コードを添付しております。AC100 V 以外で使用しないでください。</p>



## 警告

8	 禁止	<p><b>アース線を挿入・接触しない</b>          電源コードのアース線を電源コンセントに挿入・接触させると火災・感電の原因となります。</p>	
9	 指示	<p><b>据え付け、取り付けは必ず工事専門業者または販売店に依頼する</b>          工事が不完全ですと重大事故の原因となります。</p>	
10	 設置禁止   禁止   屋外での 使用禁止	<p><b>設置するときに気を付けること</b>          本機はスタンドなどの取り付け器具なしで設置、運用することはできません。移動や設置の際は十分な安全を確保できる人数（必ず2人以上）でおこなってください。落下してけがの原因となることがあります。</p> <p>市販の取り付け器具を使用する際は、器具の取扱説明書を参照し、取り付け、取り外し方法の詳細を確認してください。</p> <p>布などで通風口をふさがないでください。          風通しが悪かったり、置き場所によっては、内部に熱がこもり、火災や感電の原因となることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 換気の悪い場所</li> <li>● 直射日光や熱器具のそば</li> <li>● 振動の多い所</li> <li>● 湿気、ほこり、湯煙、湯気の当たる所</li> <li>● 屋外</li> <li>● 温度、湿度が急激に変化し結露がしやすい環境          結露が起きたときには、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。</li> <li>● 本機と取付金具の総重量を恒久的に十分に保持できない場所          荷重は必ず梁などの堅牢な構造材で受けるようにし、確実に取り付けてください。強度が不十分なところに設置すると、落下して重大事項の原因となることがあります。</li> <li>● 人が容易にぶら下がったり、寄りかけられるような場所、頭や目がぶつかってしまうような場所。</li> </ul> <p>上下逆さまに設置しないでください。</p>	



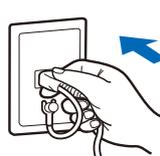
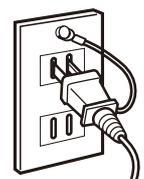
## 警告

11	 使用禁止	<p><b>地震等での製品の転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、転倒・落下防止対策をおこなう</b></p> <p>取り付ける壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適当な補強を施してください。また、転倒・落下防止対策は、けがなどの危害の軽減を意図したのですが、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。固定しないと転倒してけがの原因となることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 丈夫なロープを用いて本機を固定する スタンドによってはスタンド側に転倒防止対策が施されている場合があります。スタンドの取扱説明書も参照ください。</li> <li>● 本機を十分保持できる壁や柱などに、しっかり固定する。</li> <li>● ロープは本機の重さに耐えられる丈夫なものを使用する。</li> <li>● 本機を移動する場合は、事前にロープを取り外す。</li> </ul> <p>落下すると重大事故の原因となることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 落下防止用ワイヤーのみでの壁掛け設置・天吊り設置は絶対におこなわないでください。</li> <li>● 建物や構造物の丈夫な箇所と本機の所定の箇所を市販のフック、金具などを用いて落下防止用ワイヤーで接続してください。</li> <li>● 市販のフック、金具、ワイヤーは本機を保持するのに十分強度のある物をご使用ください。</li> <li>● 落下防止用ワイヤーは少したるませるように設置してください。</li> </ul> <p><b>安定性と危険について</b></p> <p>本機が落下すると重大事故の原因となる恐れがあります。けがなどの危害を軽減するために、本機を設置する際は取扱説明書の手順に従い、床や壁に確実に取り付けてください。特にお子様に関する事故の多くは簡単な方法で防ぐことができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 推奨されているスタンドを使用し、取扱説明書の手順に従って取り付けてください。</li> <li>● 本機を安全に支えることができる家具に設置してください。</li> <li>● 本機がはみださない大きさの家具に設置してください。</li> <li>● 本機にさわろうとして設置している家具に登ったりすると危険であることをお子様に説明してください。</li> <li>● 本機に接続するコードやケーブルは、つまずかないように、また引っ張ったりつかんだりできないように配線してください。</li> <li>● 本機を不安定な場所に設置しないでください。</li> <li>● 本機を背の高い家具に設置する場合は、本機と家具、家具と壁や柱など、それぞれをしっかりと固定してください。</li> <li>● 本機の下に布などを敷かないでください。</li> <li>● 本機や設置している家具の上に、お子様の興味を引くようなもの（玩具やリモコンなど）は置かないでください。</li> </ul> <p>設置場所を変える場合は、上記をふまえ設置してください。</p>
12	 禁止	<p><b>傾斜面や不安定な場所に置かない</b></p> <p>落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。</p>
13	  禁止	<p><b>異物をいれない</b></p> <p>火災・感電の原因となります。特にお子様にご注意ください。</p> <p>異物が本機の中に入った場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。</p>

 **警告**

14	 水ぬれ禁止	<b>水のかかるところに置かない</b> 水などが本機の内部に入った場合はすぐに本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、故障・火災・感電などの原因となります。
15	 禁止	<b>清掃時に気を付けること</b> 付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。
16	  禁止	<b>ヒューズカバーを開けない</b> ヒューズカバーを開いたり、ヒューズの取り外し、交換などはおこなわないでください。感電の原因となります。修理の場合は販売店へお問い合わせください。

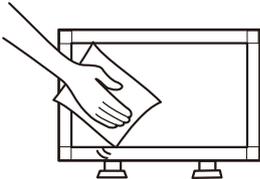
## ⚠️ 注意

<p style="text-align: center;">1</p>	 プラグを持つ  しっかり 差し込む  ぬれ手禁止  プラグを抜く  禁止  ほこりを取る  アース線を 接続せよ	<p><b>電源コードは注意して取り扱う</b>            電源コードが破損すると、火災・感電の原因となることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源プラグを奥までさしこむ</li> <li>● 電源コードが容易に抜けるのを防止する 電源コードを本機付属のクランプとネジで固定してください（締付トルク 29.5 ~ 49 N・cm）</li> <li>● ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない</li> <li>● 電源コードの抜き差しはプラグ部分を持っておこなう</li> <li>● お手入れの際は電源プラグを抜く</li> <li>● 電源プラグのほこりなどは定期的に取り取る</li> <li>● 電源コードやケーブル類をつけたまま移動しない</li> <li>● 長期間の旅行、外出のときは電源プラグを抜く</li> <li>● 機器のアース線は確実に接続する</li> </ul> <p>本機は電源コードのアース線をアースに接続することを前提に設計されているアース線つき 2 芯プラグ機器です。機器の安全確保のため、電源コードのアース線を、コンセントのアース端子に接続し、機器のアースを確実に接続してご使用ください。アースに接続しないと感電するおそれがあります。アース工事は専門業者にご依頼ください。アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前におこなってください。また、アース線を外す場合は、必ず電源コンセントから抜いてからおこなってください。</p>      
<p style="text-align: center;">2</p>	 禁止	<p><b>電源コードおよび USB ケーブルは束ねず（丸めず）使用する</b>            ケーブルが発熱して火災の原因となるおそれがあります。</p>
<p style="text-align: center;">3</p>	 設置禁止	<p><b>過電圧が加わるおそれのあるネットワークには接続しない</b>            本機の LAN ポートは、過電圧が加わるおそれのないネットワークに接続してください。LAN ポートに過電圧が加わると、感電の原因となることがあります。</p>
<p style="text-align: center;">4</p>	 禁止	<p><b>本機を設置している台には乗らない</b>            置き台には乗らないでください。また、キャスター付き置き台に本機を設置する場合は、必ずキャスター止めをしてください。本機が倒れたり、置き台が動いたりしてけがの原因となることがあります。</p>
<p style="text-align: center;">5</p>	 ケガに注意  手の挟みこみに注意	<p><b>スタンドの取り付けや高さを調節する場合</b>            スタンド取り付け時、本機とスタンドの間に手や指をはさむとけがの原因となります。            高さ調節が可能なスタンドは指定された位置に固定してください。誤った位置に本機を固定すると転倒してけがの原因となる恐れがあります。</p>
<p style="text-align: center;">6</p>	 禁止	<p><b>本機を強く押さない、乗らない、つかまない、ぶら下がらない</b>            破損して火災、感電、けがの原因となることがあります。</p>

## 注意

7	 禁止	<b>液晶パネルに衝撃を加えない</b> 破損してけがや故障の原因となることがあります。
8	 禁止	<b>乾電池は適切に取り扱う</b> 乾電池は誤った使い方をすると液もれや破裂によるけがの原因となることがあります。 <ul style="list-style-type: none"><li>● 乾電池のプラスとマイナスを、表示のとおり正しく入れる</li><li>● 乾電池は種類によって特性が異なるため、種類の違う乾電池を混ぜて使用しない</li><li>● 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない 新しい乾電池の寿命を短くしたり、また、古い乾電池から液がもれるおそれがあります。</li><li>● 乾電池が使えなくなったら、すぐに取り出す 液がもれて故障の原因となるおそれがあります。 また、もれた液に触れると肌が荒れることがありますので、布でふき取るなど十分注意してください。</li><li>● 乾電池を焼却、加熱、器具での押しつぶし、切断をすると、破裂の恐おそれがあります。</li><li>● 高温になる場所や気圧の低い場所に放置すると、破裂したり乾電池から可燃性の液やガスが漏れる可能性があります。</li><li>● 乾電池を廃棄する際は、販売店、または自治体に問い合わせてください。</li></ul>
9	 指示	<b>適度な明るさの環境で使用する</b> 画面の反射による目の疲れを防ぐために、適度な明るさの中でご使用ください。
10	 通気口の掃除	<b>キャビネットの通気口を掃除する</b> キャビネットの通気口がごみやほこりでふさがると内部に熱がこもり火災や感電の原因となることがあります。1年に一度はキャビネットの通気口を掃除してください。
11	 内部掃除	<b>1年に一度は内部掃除を</b> 内部にほこりがたまったまま使うと、内部に熱がこもり火災や故障の原因となることがあります。内部掃除は販売店にご依頼ください。

## ディスプレイの上手な使い方

 国内専用	<p><b>日本国内専用です</b> この液晶ディスプレイは日本国内用として製造・販売しています。日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。またこの商品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではおこなっていません。</p> <p>This color monitor is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.</p>	 For use in Japan only
 プラグを抜く	<p><b>キャビネットのお手入れ</b> お手入れの際は電源プラグを抜いてください。柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには水でうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。</p> <p>ベンジンやシンナー、アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、ガラスクリーナー、ワックス、研磨クリーナー、粉石鹼などでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変質・ひび割れしたり、塗装がはげる原因となることがあります。(化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。)また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。キャビネットおよびスタンドが変色したり、変質・ひび割れするなどの原因となることがあります。</p>	 中性洗剤
<p><b>液晶パネルのお手入れ</b> パネル表面は傷つきやすいので、硬いもので押しったりこすったりしないように、取り扱いには十分注意してください。パネル表面が汚れた場合には、乾いた布で軽くふき取ってください。またきれいな布を使用されるとともに、同じ布の繰り返し使用は避けください。</p>		
<p><b>上手な見方</b> 明るすぎる部屋は目が疲れます。適度な明るさの中でご使用ください。また、連続して長い時間、画面を見ていると目が疲れます。</p>		
<p><b>部品寿命による影響</b> 保証期間を超えて長くご使用した場合、部品劣化によるリスクが高まりますので、製品の買い替えのご検討をお願いします。</p>		

### 重要なお知らせ

#### 残像について

残像とは、長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残る現象ですが、故障ではありません。

残像は、画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると残像が消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。

# 主な特長

---

米国マイクロソフト社の「Windows collaboration display」認証を取得

## かんたん・便利

コンピューターと USB Type-C ケーブル 1 本で接続するだけで、様々な機能が利用できます \*<sup>1</sup>。

- 4k カメラ、マイク、スピーカーを搭載。
- 入力検出機能で接続したコンピューターに自動で入力端子を切り替え \*<sup>2</sup>。
- タッチパネルでコンピューターを操作可能。指での操作に加えて、専用のアクティブペンを付属 \*<sup>3</sup>。
- USB Type-C 端子からは最大 65W の給電に対応。本機を使用しながらコンピューターの充電が可能。

人感センサーを搭載 \*<sup>4</sup>, \*<sup>5</sup>

本機の周辺に人が居ない場合、自動的に画面表示をオフします。

人を感知した場合、即座に画面表示をオンすることで、素早く会議を始めることができます。

## 会議室に適した機能

4k カメラ、マイク、スピーカーは Microsoft Teams の認証を取得しています。

テレビ会議に最適な性能を有しています。

### 各種センサーを搭載

温度、湿度、照度、エアクオリティセンサーを搭載。測定データは OSD 上で確認したり、RS-232C、または、LAN で接続したコンピューターからコマンドで取得することができます。

\*<sup>1</sup>：コンピューターと本機を HDMI ケーブルで接続する場合、本機の USB-B 端子に USB 3.2 Gen1 対応ケーブルを接続してください。

\*<sup>2</sup>：OSD メニューで入力検出機能を無効にした場合、自動で切り替わりません。

\*<sup>3</sup>：アクティブペン操作時、ペン先とタッチガラスの摩擦で、擦過音が発生する場合があります。

気になる場合は、指で操作してください（書き込みはアクティブペン利用となります。）

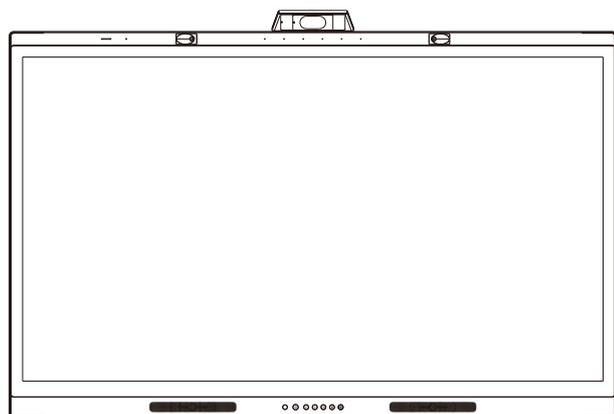
\*<sup>4</sup>：室温が 30℃以上では人感センサーは正しく動作しないことがあります。

\*<sup>5</sup>：センサー機能を使用するには、ディスプレイの設定を WCD モードに変更する必要があります。

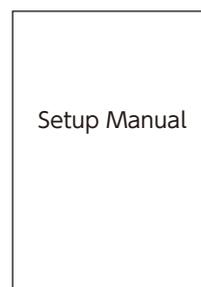
# 付属品

本製品の梱包箱\*には次のものが含まれている必要があります。

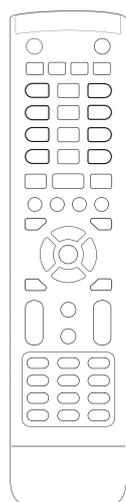
- 液晶ディスプレイ
- リモコン、単4乾電池×2
- 電源コード
- USB Type-C ケーブル
- 固定金具（充電器用）
- クランプ
- アクティブペン×2、充電器
- セットアップマニュアル
- 固定金具（充電器用）取り付けネジ（予備）\*1
- モニター背面取付金具（本機に実装済み）\*2
- 背面取付金具用安全ネジ\*2



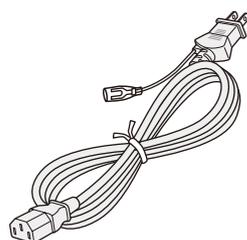
モニター背面取付金具×2  
(本機に実装済み)\*2



セットアップマニュアル



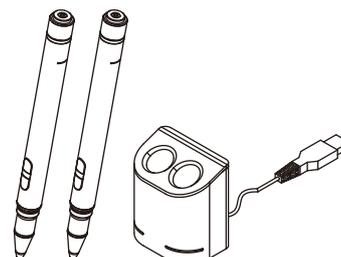
リモコン、単4乾電池×2



電源コード



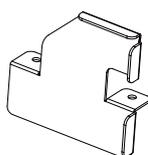
USB Type-Cケーブル



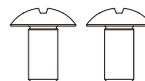
アクティブペン×2、充電器



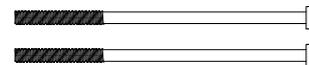
クランプ



固定金具（充電器用）



固定金具（充電器用）  
取り付けネジ（予備）×2\*1



背面取付金具用安全ネジ×2\*2

\*： 運搬する場合は、本機が入っていた梱包箱と緩衝材をご使用ください。

\*1： 固定金具の取り付けは本機にあらかじめ取り付けられているネジをご使用ください（22ページ参照）。

\*2： モニター背面取付金具を推奨スタンドに固定する際に使用します。スタンドのマニュアルを参照してください。対象のスタンドについては販売店へお問い合わせください。

# 設置

## ▲ 注意

NEC 認定の熟練したサービス担当者による正しい設置を強くおすすめします。NEC が標準として定める設置手順に従わないと、本機の損傷やお客様、設置担当者のけがの原因となることがあります。不適切な設置に起因する損傷は、保証書の対象範囲外です。以上の推奨事項に従わなかった場合、保証書が無効になることがあります。

## 設置の概要

### 1. 設置する場所を決める

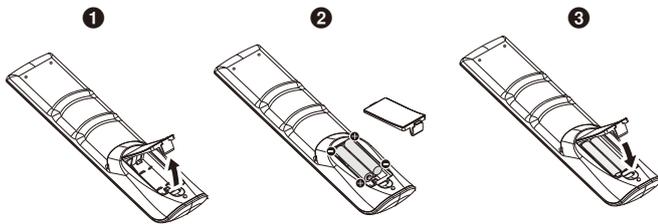
#### ▲ 注意

- 本機の設置は、専門の技術者がおこなってください。詳しくは販売店へお問い合わせください。
- 本機の移動と設置は、必ず 2 人以上でおこなってください。本機の落下によりけがの原因となることがあります。
- ディスプレイを逆さまに取り付けしないでください。

### 2. リモコンに電池を入れる

単 4 形乾電池 2 つが必要です。

下図に従って電池を入れてください。



- ① ふたを矢印のように押しながらかき上げる
- ② ケース内部の表示どおりに (+)、(-) を合わせて入れる
- ③ ふたを元に戻す

#### ▲ 注意

乾電池は誤った使い方をすると液もれや破裂することがありますので、次の点について特にご注意ください。

- 乾電池のプラス (+) とマイナス (-) を、表示のとおり正しく入れてください。
- 乾電池は種類によって特性が異なりますので、種類の違う乾電池は混ぜて使用しないでください。
- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。新しい乾電池の寿命を短くしたり、また、古い乾電池から液がもれるおそれがあります。
- 乾電池が使えなくなったら、液がもれて故障の原因となるおそれがありますのですぐ取り出してください。また、もれた液に触れると肌が荒れることがありますので、布でふき取るなど十分注意してください。

#### お知らせ

- リモコンに付属の乾電池は保存状態により短時間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
- 長時間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出して保管してください。

### 3. 外部機器を接続する

接続する機器のそれぞれの取扱説明書に従って接続してください。

### 4. 電源を接続する

#### お知らせ

電源コンセントに接続するときは、本体の使用に十分な電源容量が供給されることを確認してください。電源容量は「仕様」を参照ください。

#### お願い

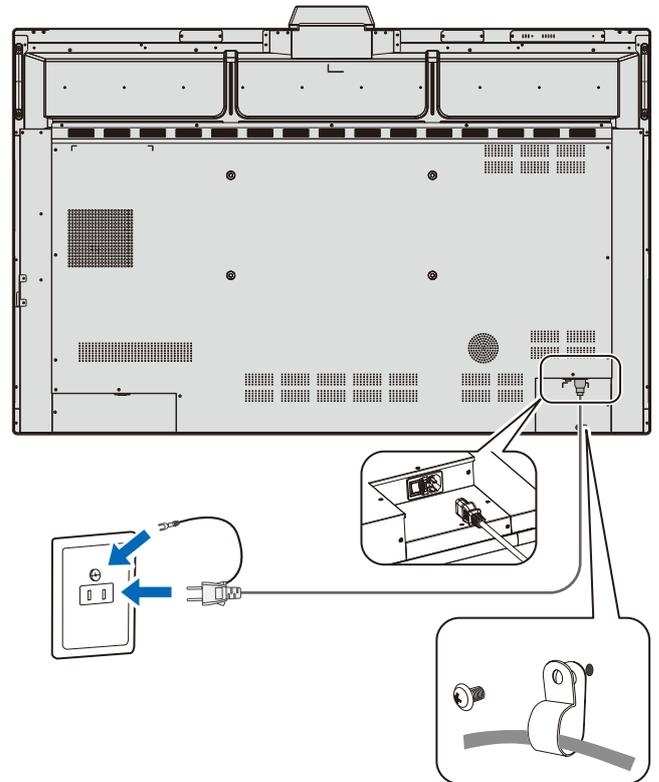
電源コードは本機に接続してから電源コンセントに接続してください。

1. 電源コードの一方の端を、本体の電源入力コネクタに差し込む。奥までしっかり差し込んでください。

#### ▲ 注意

電源コードをディスプレイ本機付属のクランプとネジ (M3 × 6) で必ず固定することで本体の電源入力コネクタから容易に抜けるのを防止することができます。(締付トルク 29.5 ~ 49 N・cm)

2. アースリード線を接地 (アース接続) する。
3. 電源プラグを AC100V 電源コンセントに接続する。



**▲ 注意**

- 表示された電源電圧以外で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 本機には一般のご家庭のコンセント (AC100V) でお使いいただくための電源コードを添付しております。AC100V 以外で使用しないでください。
- 電源プラグのアースリード線は必ず接地 (アース) してください。  
なお、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。  
また、電源プラグのアースリード線は電源コンセントに挿入または接触させないでください。火災・感電の原因となります。
- 本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。

**5. ケーブル情報****注意**

添付のケーブルを使用してください。

USB Type-C、HDMI、USB、D-Sub 9 ピンはシールドタイプを使用してください。これ以外のタイプのケーブルを使用した場合、受信障害の原因となることがあります。

USB ケーブルは USB 対応ロゴがついた SuperSpeed USB (USB 3.2 Gen 1) ケーブルを使用してください。

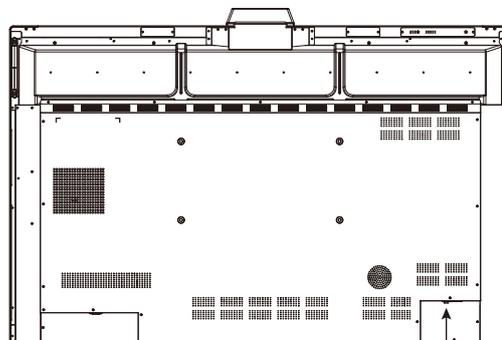
USB Type-C ケーブルは USB 対応ロゴがついた SuperSpeed USB (USB 3.2 Gen 1, USB Power Delivery, DisplayPort Alternate Mode 対応) ケーブルを使用してください。

**6. 主電源スイッチ オン/オフ**

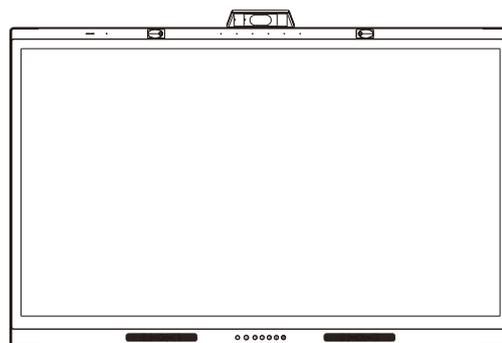
本体の  ボタン、またはリモコンの  ボタンを押して本機をオンにします。

電源オン状態では、ディスプレイの電源ランプが青色点灯します。詳細は 20 ページの「電源ランプ」を参照ください。主電源スイッチがオン (I) になっていることを確認してから操作してください。

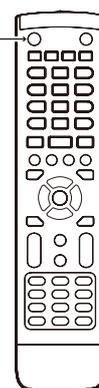
電源オン状態で本体の  ボタンを 2 秒間押し続けることでスタンバイへ移行することが可能です。



主電源スイッチ  
オン — オフ



電源ボタン  
電源ボタン

**7. 接続機器の電源をオンにする。**

本機の電源を入れてから、コンピューターや映像機器の主電源を入れる。

**8. 接続した外部機器を操作する。**

接続した外部機器に対応する入力信号を選択して、外部機器からの映像をディスプレイに表示します。

## 設置（お客様へ）

### ▲ 警告

据え付け、取り付けは必ず工事専門業者または販売店にご依頼ください。工事が不完全ですと、死亡、けがの原因となります。

### ▲ 注意

お客様による設置はおやめください。本機はスタンドなどの取り付け器具なしで設置、運用することはできません。専門の技術者による正しい設置をおすすめします。設置業者の紹介につきましては、販売店へご相談ください。壁掛けや天吊り設置に関する設置業者との契約につきましてはお客様の責任においておこなってください。

## 設置後のメンテナンス

- ネジのゆるみや部品のずれ・ゆがみなど異常や不具合が発見された場合には、すぐに工事専門業者または販売店に修理を依頼してください。
- 環境によっては経年変化で取り付け部などの強度が不足するおそれがあります。定期的に工事専門業者に点検を依頼し、メンテナンスをおこなってください。

なお、据え付け・取り付けの不備、誤使用、改造、天災などによる事故損害については、当社は一切責任を負いません。設置の依頼にあたっては「設置（設置業者様へ）」の注意点を設置業者にご提示ください。

## 設置（設置業者様へ）

壁や天井に本機を設置する際には、本機および金具類などの重量を支えるのに十分な強度があることを確認してください。本機の質量は「仕様」を参照ください。

誤った設置、改造、自然災害による損傷につきましては、保証の対象範囲外です。以上の推奨事項に従わなかった場合、保証書は無効になることがあります。

通風口を取付金具などの器具でふさがないようにご注意ください。

### ▲ 警告

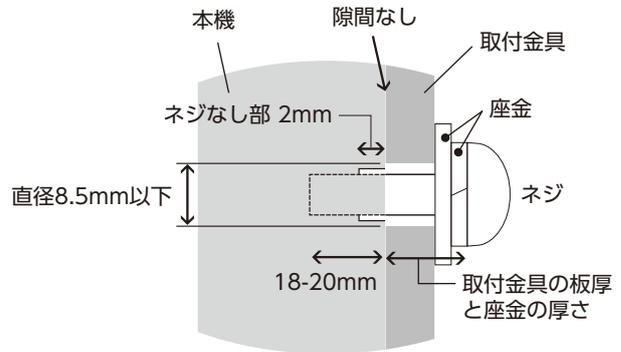
NEC が定めた設置手順に従わないと設置時にけがをしたり、工事が不完全ですと、死亡、けがの原因となります。以下の注意点を確認してください。

### ■取付金具について

本機の推奨スタンドに合わせてモニター背面取付金具があらかじめ取り付けられています。推奨スタンドを使用しない場合は金具を取り外してください。

### ▲ 注意

- 金具取り付け面の強度を十分確認して設置してください。
- 市販の取付金具は、本機を支えるのに十分なものを選んでください。
- 取り付け前に、強度など安全性の確認をおこなってください。
- 金具の一部がディスプレイの通風口をふさがないようにご注意ください。
- 取り付け方法、安全な設置方法の詳細は、市販の取付金具の取扱説明書を参照ください。
- 取付穴は背面に4個あります。取り付けの際は上下左右均等に取付けてください。
- ディスプレイの取付面と取付金具との間には隙間が無いようにしてください。



### ■落下防止対応のお願い

ディスプレイを壁掛けや天吊りで設置する場合は、市販の壁掛け・天吊り金具を使用し、さらに落下防止用ワイヤーを設置してください。

### ▲ 注意

落下すると重大事故の原因となることがあります。以下の注意点をご確認ください。

- 落下防止用ワイヤーのみでの壁掛け設置・天吊り設置は絶対におこなわないでください。
- 建物や構造物の丈夫な箇所とディスプレイの所定の箇所を市販のフック、金具などを用いて落下防止用ワイヤーで接続してください。
- 市販のフック、金具、ワイヤーはディスプレイを保持するのに十分強度のある物をご使用ください。
- 落下防止用ワイヤーは少したるませるように設置してください。
- 本体のハンドルに落下防止用ワイヤーを取り付ける場合は本体背面の2つのハンドルを使用してください。

## 取り付け場所について

### ▲ 注意

設置の際は以下に気を付けてください。火災や感電、けがの原因となることがあります。

- 本機と取付金具の総重量を恒久的に十分に保持できる、強度のある場所を選んでください。強度の不十分なところに設置すると、落下して重大事故の原因となることがあります。
- 人が容易にぶら下がったり、寄り掛かれるような場所、頭や目がぶつかってしまうような場所、振動、衝撃の加わる場所、または、湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。火災や感電の原因となることがあります。
- 荷重は必ず梁などの堅牢な構造材で受けるようにし、確実に取付けてください。

### お知らせ

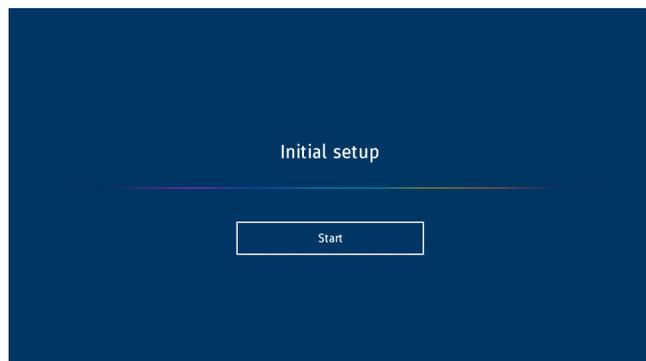
設置の場所や状態によって本機内部に熱がこもらないように、空調や通風には十分配慮してください。

## 初回起動時の設定

本機を初めて使用する場合、画面の案内に従って設定をおこなってください。

### 1. 初期設定の開始

[Start] ボタンを押して初期設定を開始してください。

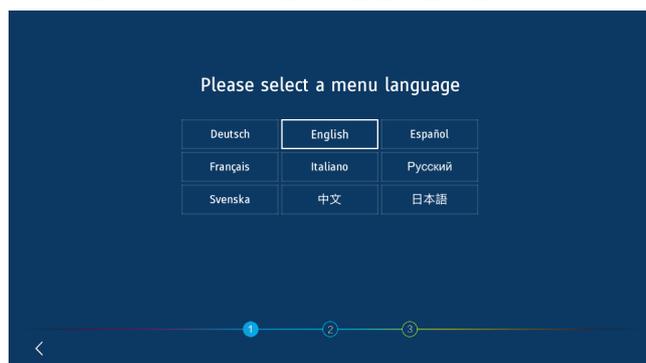


### 2. 言語の選択

OSD (On Screen display) でお客様がご使用になる言語を選択してください。

次の9言語から選択することができます。

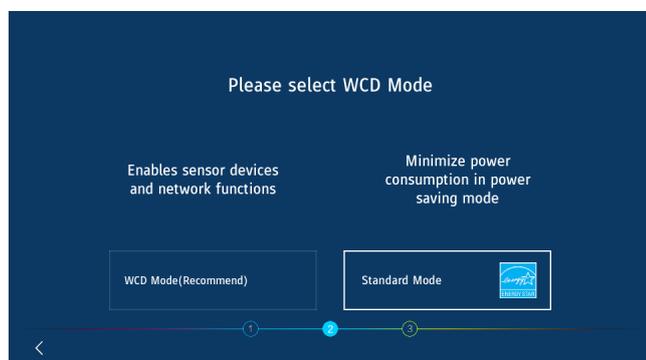
英語 / フランス語 / ドイツ語 / スペイン語 / イタリア語 / ロシア語 / スウェーデン語 / 中国語 / 日本語



### 3. モード選択

本機の動作モードを選択します。

本機の機能を活用いただくため WCD モードを選択してください。



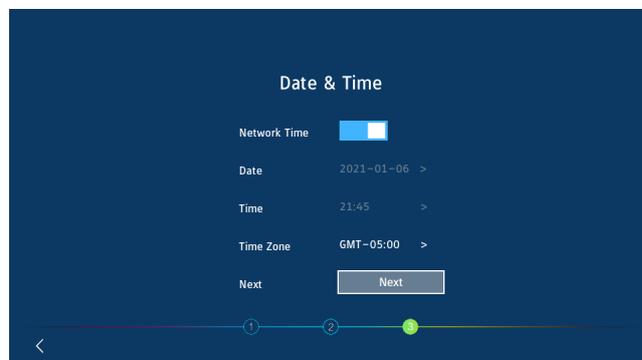
### 4. 時間設定

時間設定を自動でおこなうか、手動で設定をするか選択します。

自動で設定をおこなう場合は LAN ポートを接続し、タイムゾーンを選択してください。

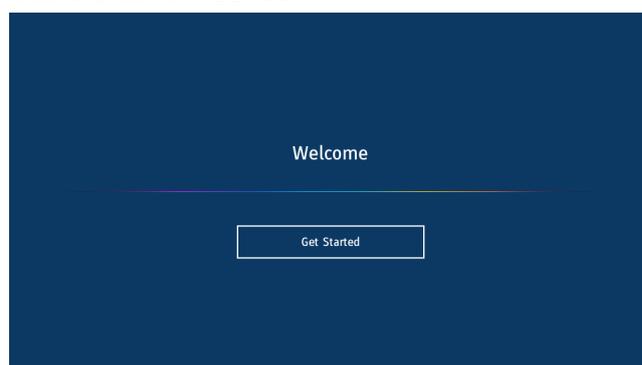
手動で設定をおこなう場合は、[Network Time] を無効にします。

タイムゾーンを選択してから、日付、時間を設定をしてください。



### 5. 完了

以上で初期設定は完了です。



## 壁掛け用や天吊り用として使用する場合

### ■壁掛け・天吊り時の注意事項

#### ⚠ 警告

- 地震などでの製品の転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、転倒・落下防止対策をおこなってください。壁掛け・天吊りの設置をする前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 壁や天井の構造や強度により取り付けできない場合がありますので、取り付け場所については工事専門業者または販売店にご相談ください。

#### ■設置方法

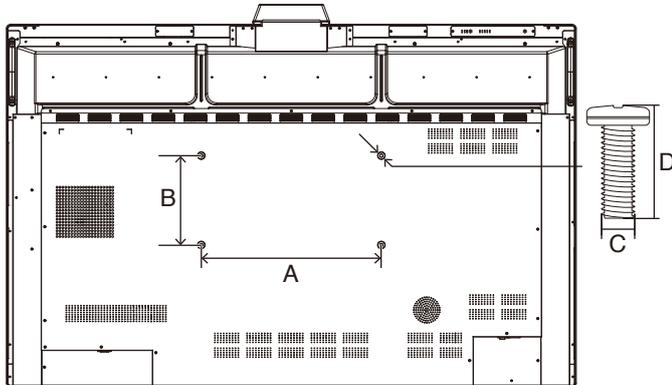
取付金具は、ディスプレイを下向きにした状態で取り付けます。前面の損傷を防ぐため、机の上のような平らな場所にマットや毛布など柔らかいものを敷きます。

#### ⚠ 注意

カメラや本機のボタンを押しつぶさないようにご注意ください。

### お知らせ

必ずディスプレイより大きい場所の上に置いてください。



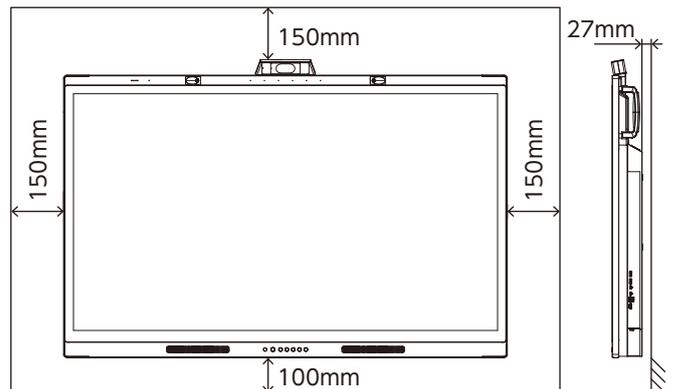
inch	Spec. (A × B)	Standard screw (C × D)	Quantity
WD551	400 × 200mm	M8 × 25mm	4

#### ⚠ 注意

取り付け時に、本機に手を置いたり、力をかけたりしないでください。ディスプレイが変形するおそれがあります。

## 据付条件

熱がこもるのを防ぐため、狭い場所（壁埋め込みなど）に設置する場合は、ディスプレイの周囲は下図のように壁から離してください。

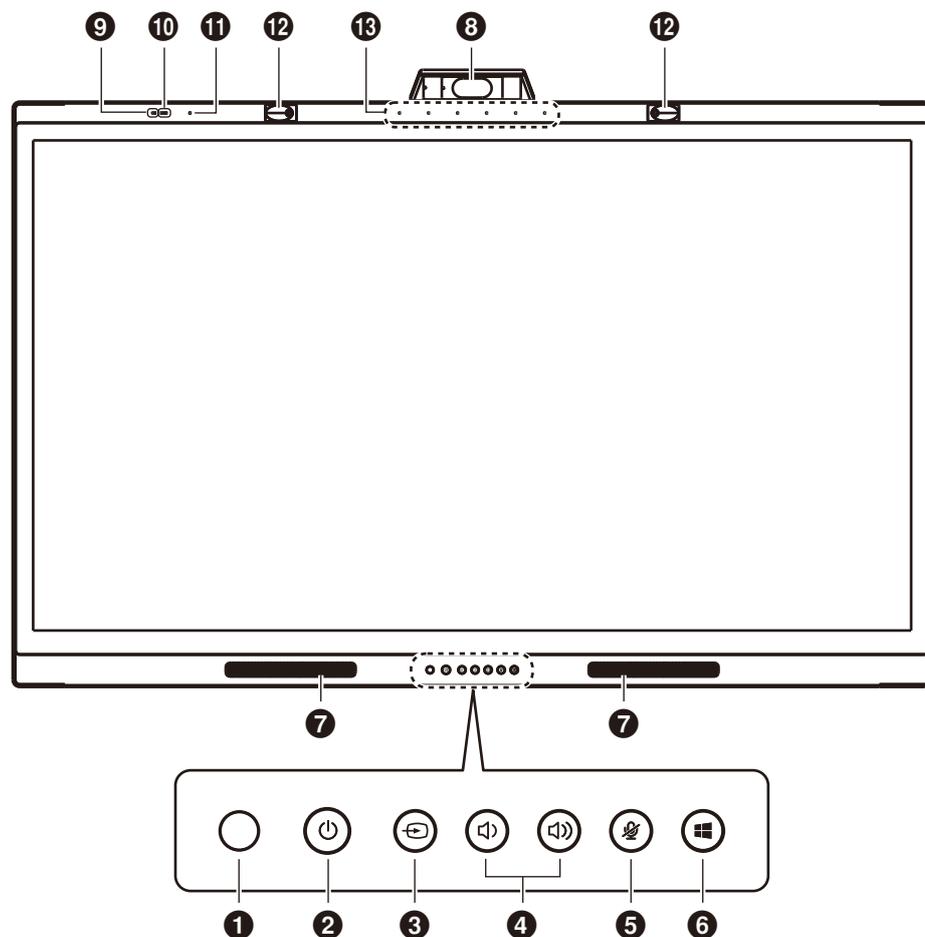


### お知らせ

本機の使用環境温度の最大値は 40℃です。ケースなどに入れて使用される場合は、ケース内部の温度が 40℃以下となるよう、ケースにファンを取り付ける、通風口を設けるなどの処置をおこなってください。

# 各部の名称

## コントロールパネル



### ① リモコン受光部

ワイヤレスリモコンの信号受光部です。

### ② ㊤ ボタン、電源ランプ (電源ボタン)

電源をオン/スタンバイするときに押します。  
電源オン状態でボタンを2秒以上押し、スタンバイに、2秒未満で短く押した場合はスクリーンオフになります。  
電源ランプはディスプレイの状態を示します。

### ③ ㊥ ボタン (入力切り替えボタン)

入力信号を検出します。以下の順に自動でチェックし、入力信号を検出すると、その信号を表示します。  
[USB-C 1] → [USB-C 2] → [HDMI]

### ④ ㊦ / ㊧ ボタン (音量ボタン)

音量は接続したコンピューター上で調節されます。  
音量の調節は接続したコンピューター上でおこなわれます。

### ⑤ ㊨ ボタン (MUTE ボタン)

マイク (音声入力) を無効にします。もう一度押しとマイクが有効になります。

### ⑥ ㊩ ボタン (Windows ボタン)

コンピューターの ㊩ キーに対応します。

### ⑦ スピーカー

### ⑧ カメラ

### ⑨ エアクオリティセンサー

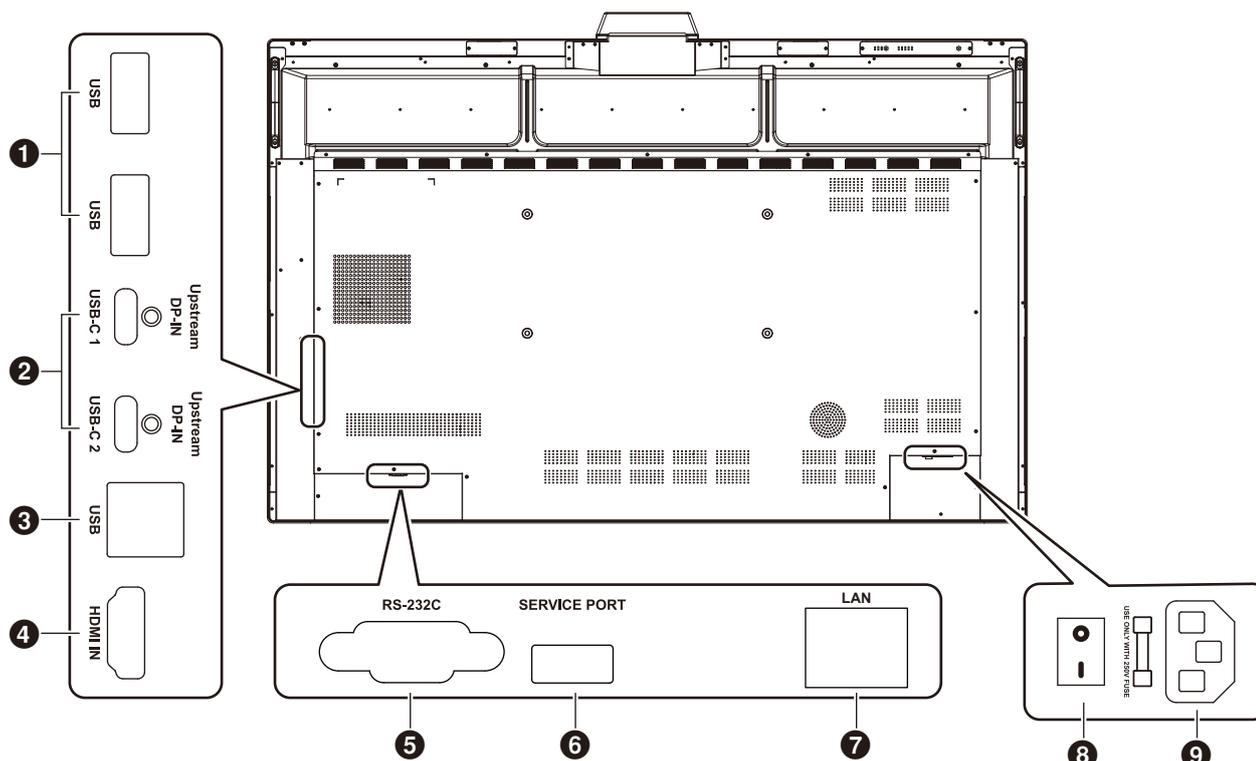
### ⑩ 照度センサー

### ⑪ 温度 / 湿度センサー

### ⑫ 人感センサー

### ⑬ マイク

## ターミナルパネル



### ① USB ダウンストリームポート (Type-A)

接続したコンピューターの USB ダウンストリームポートとして機能します。複数のコンピューターが接続されている場合は入力切替に応じたコンピューターに接続します。アクティブペンの充電器もここに接続してください。ペンの充電はコンピューターを接続していない場合でも可能です。

### ② USB ポート (Type-C)

コンピューターなどの USB Type-C 準拠の外部機器と接続します。詳細については、24 ページの「USB Type-C 端子のある機器との接続」を参照してください。

### ③ USB アップストリームポート (Type-B)

HDMI 端子選択時にコンピューターへ接続することで、タッチ機能、カメラ機能、USB ハブ機能等を使用することができます。

本機とコンピューターを HDMI ケーブルで接続する場合に使用します。

### ④ HDMI 入力コネクタ

デジタル映像インターフェースの HDMI 規格に準拠した機器と接続します。

### ⑤ RS-232C 入力コネクタ (D-Sub 9 ピン)

コンピューターを接続します。詳細は本取扱説明書の「RS-232C リモートコントロール」を参照ください。

### ⑥ サービスポート (USB)

お客様は使用できません。

### ⑦ LAN ポート

LAN ケーブルを接続します。

時刻設定、ファームウェアの更新、コマンドによる制御に使用します。

### ⑧ 主電源スイッチ

主電源をオン/オフするときに押します。

⬇: オン ○: オフ

出荷時はオフになっています。

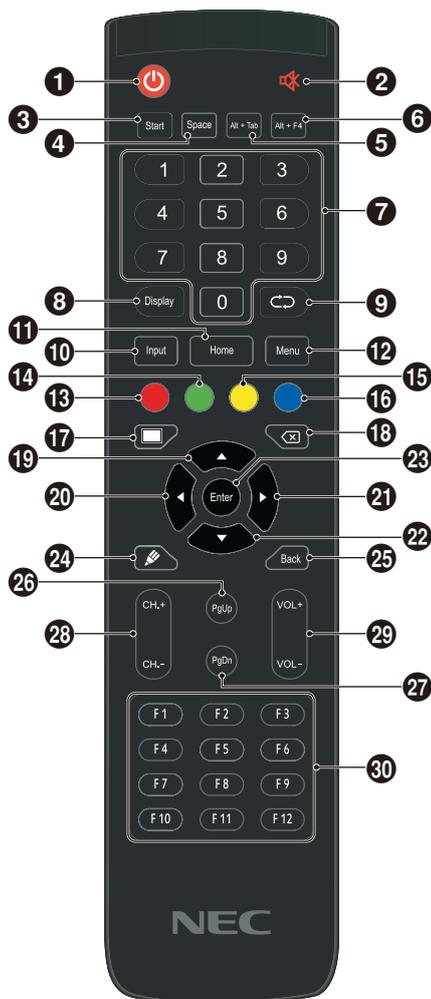
### ⑨ 電源入力コネクタ (3 極アース端子付き)

電源コードを接続します。

## お知らせ

コンピューターを本機の USB ポート (Type-C) に接続する場合、USB アップストリームポート (Type-B) への接続は不要です。接続した場合、コンピューターが正しく動作しないことがあります。

## リモコン



## ① ㊤

スタンバイ時に押しすと電源をオンにします。電源オン時に押した場合はシャットダウンメッセージを表示後、スタンバイに移行します。

## ② ㊤

スピーカーミュートの ON/OFF を切り替えます。

## ③ Windows

コンピューターの Windows キーに該当します。

## ④ Space

コンピューターの Space キーに該当します。

## ⑤ Alt+Tab

コンピューターの Alt + Tab キーに該当します。

## ⑥ Alt+F4

コンピューターの Alt + F4 に該当します。プログラムウィンドウを閉じることができます。

## ⑦ 数字ボタン

数字入力に使用します。

## ⑧ Display

端子情報を表示します。

## ⑨ ㊤

機能はありません。

## ⑩ Input

入力端子選択画面 (OSD メニュー画面) を開きます。

## ⑪ Home

システムのメイン画面へ移行します。

## ⑫ Menu

OSD メニュー画面を開きます。

## ⑬ Red

ディスプレイのボタン、タッチ機能のロック、ロック解除をおこないます。

## ⑭ Green

ディスプレイのボタンのロック、ロック解除をおこないます。

## ⑮ Yellow

タッチ機能のロック、ロック解除をおこないます。

## ⑯ Blue

ディスプレイのボタン、タッチ機能のロック解除をおこないます。

## ⑰ ㊤

電源オンとスクリーンオフの切り替えをおこないます。\*1

## ⑱ ㊤

コンピューターの Backspace キーに該当します。

## ⑲ ▲

方向ボタン。上方向を選択します。

## ⑳ ◀

方向ボタン。左方向を選択します。

## ㉑ ▶

方向ボタン。右方向を選択します。

## ㉒ ▼

方向ボタン。下方向を選択します。

## ㉓ Enter

Enter ボタン。このボタンを押して決定します。

## ㉔ ㊤

機能はありません。

## ㉕ Back

戻るボタン。

## ㉖ PgUp

コンピューターの Page Up キーに該当します。

## ㉗ PgDn

コンピューターの Page Down キーに該当します。

## ㉘ CH.+ / CH.-

機能はありません。

## ㉙ VOL+ / VOL-

コンピューターの音量を調節します。

## ㉚ F1-F12

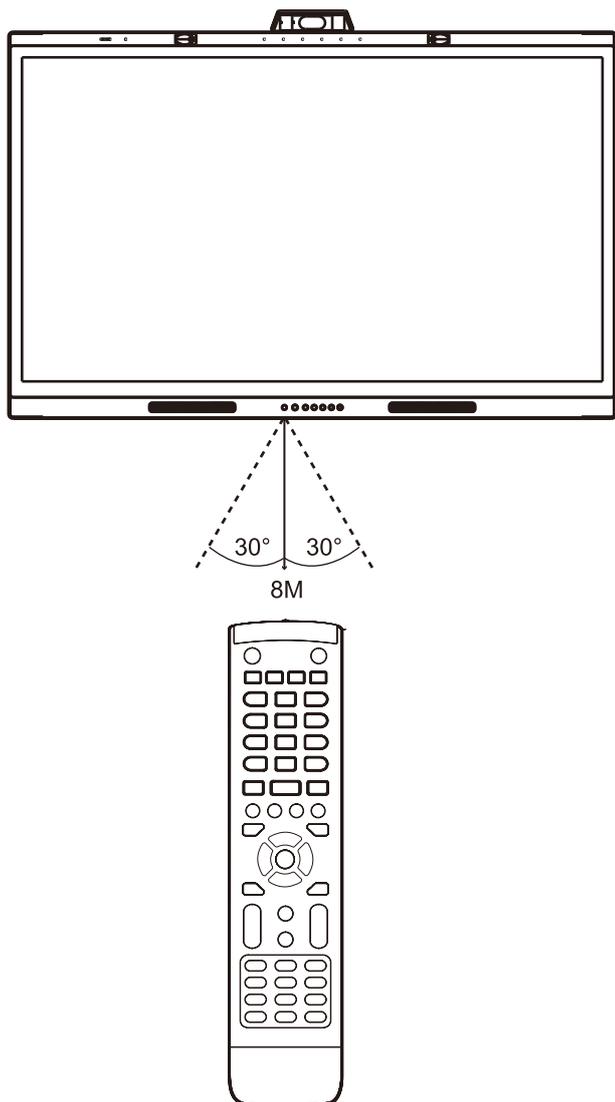
コンピューターの F1 ~ F12 キーに該当します。

\*1: WCD モードでスクリーンオフに切り替えた場合、人感センサーにより直ちに電源オンに復帰することがあります。

## リモコンの使用範囲

リモコンの操作をするときは本機のリモコン受光部の方向にリモコンの先を向けてください。

リモコンは、リモコン受光部から 8m 以内、上下左右 30° 以内で 4m 以内でご使用ください。



## 電源ランプ

電源ランプ色と点灯パターン	状態
青色点灯	通常動作時、起動中
赤色点灯	スタンバイ
青 / 赤 交互にゆっくり点滅	スクリーンオフ
青 / 赤 交互に高速点滅	シャットダウンまたはリモコン制御信号を受信

### お知らせ

太陽の直射日光や強い光の当たるところ、または、蛍光灯の近くでは、リモコン操作がきかない場合があります。

### リモコンの取り扱いについて

- 強い衝撃を与えないでください。
- 水に濡らさないでください。もし濡れた場合は、すぐにふき取ってください。
- 熱やスチームなどにあてないでください。
- 電池を廃棄する際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。
- 電池交換のとき以外はリモコンのふたを開けないでください。

## アクティブペン

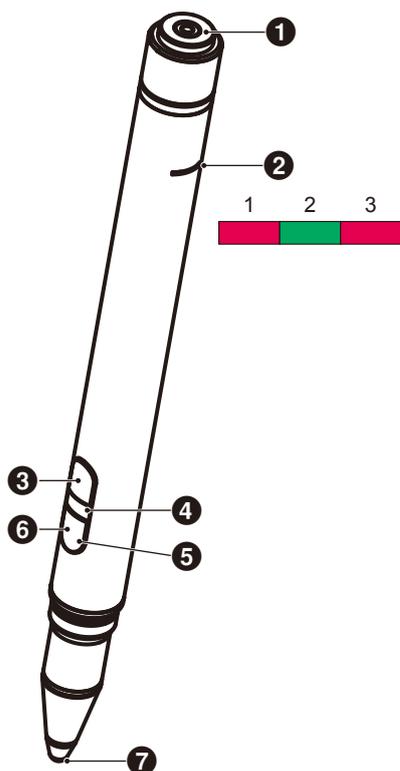
本機ではタッチパネルの操作に付属のアクティブペンを使用することが可能です\*<sup>1</sup>。  
アクティブペンは充電式です。付属の充電器で充電することが可能です。

フル充電時間：おおよそ 3 分

連続使用時間：おおよそ 120 分

連続使用時間はフル充電状態からペンを使用できる目安の時間です。

ペンは充電器から外した状態では常に電力を消費しています。使用していない状態でもバッテリーを消費するため、使用しない時は充電することをおすすめします。



### ① 充電端子

充電器に挿入して充電します。

### ② 充電ランプ

1) 充電ライト（赤点灯）

充電中に点灯します。

2) パワーライト（緑点灯）

充電器に接続された状態で点灯します。

3) 低バッテリーライト（赤点灯）

バッテリーが低い状態で点灯します。早めの充電をおすすめします。

### ③ 上ボタン

マウスの右クリック動作をします。

### ④ ID カラーライト

付属の 2 本のペンを見分けるために使用します。それぞれ無色と赤色です。

### ⑤ アクティブライト

ペンが使用できる状態では、白色のライトが点滅します。

### ⑥ 下ボタン

消しゴム機能として動作します。\*<sup>2</sup>

### ⑦ ペン先

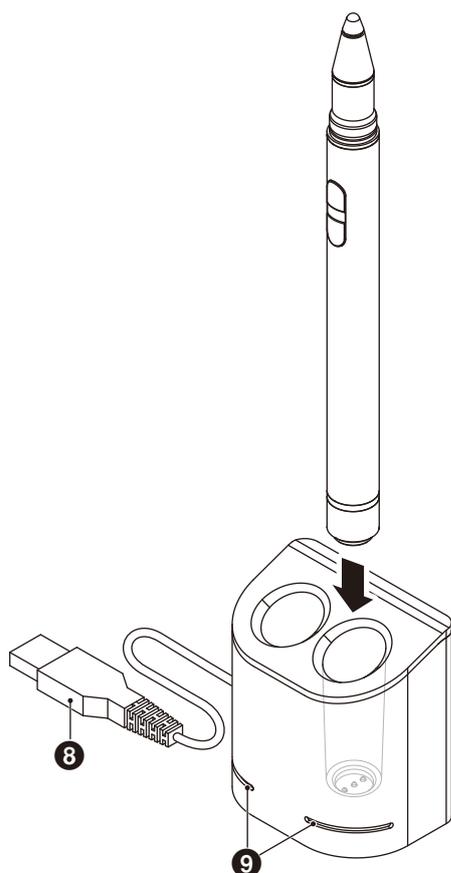
\*1：アクティブペン操作時、ペン先とタッチガラスの摩擦で、擦過音が発生する場合があります。

気になる場合は、指で操作してください（書き込みはアクティブペン利用となります。）

\*2：消しゴム機能はアプリケーションにより動作しないことがあります。

## 充電器

充電時は、アクティブペンの充電端子が充電器側に入るように接続します。



### ⑧ USB-A 端子

充電器は USB-A 端子に接続します。本機の USB-A 端子を使用することが可能です。

### ⑨ ステータスランプ

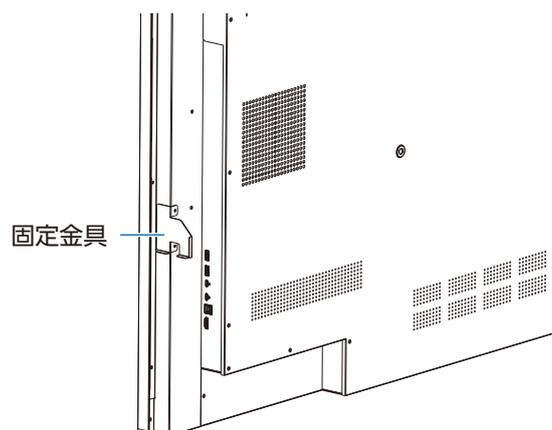
アクティブペンが未挿入、またはアクティブペンが充電完了状態で緑に点灯します。アクティブペンの充電中はランプが消灯します。

### ⚠ 注意

充電器に指や異物を入れないでください。

## 充電器の設置

充電器は背面に磁石が埋め込まれているため、ディスプレイの背面などの金属部分に設置することが可能です。また、付属の固定金具を使用することで、本機の側面へ充電器を設置することも可能です。



本体の端子側に金具設置場所があります。ネジを外して金具を設置してください。

### ⚠ 注意

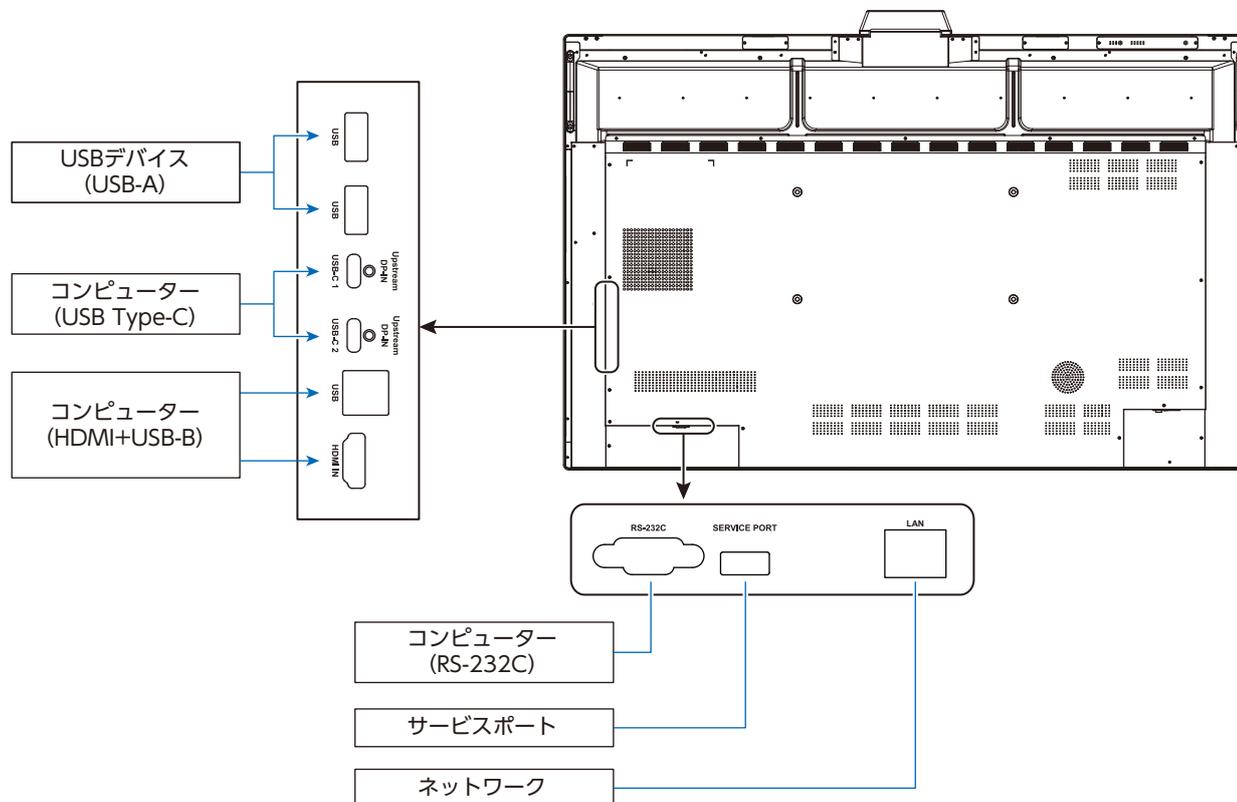
固定金具を設置した状態で、金具に力をかけないでください。金具が変形しケガをする恐れがあります。

# 接続

## 接続する前に

それぞれの機器の取扱説明書を参照してください。

## 配線図



## コンピューターと各種機能の接続

本機は USB Type-C、または HDMI と USB-B の組み合わせでコンピューターと接続することでタッチ、カメラ、スピーカー、マイク、USB ハブ機能を使用することができます。

### a. USB Type-C

- 1) USB Type-C ケーブルを使用して、外部コンピューター並びに本機の USB Type-C 端子間を接続します。
- 2)  ボタン、または OSD メニューより、入力端子を USB-C 端子に切り替えます \*1。

### b. HDMI

- 1) USB ケーブルを使用して、外部コンピューターの USB 端子 \*1 と本機の USB-B 端子を接続します。
- 2) HDMI ケーブルを使用して、外部コンピューターの HDMI 出力端子と本機の HDMI 入力端子を接続します。
- 3)  ボタン、または OSD メニューより、入力端子を HDMI 端子に切り替えます \*2。

\*1：コンピューターに USB 3.x 端子と USB2.x 端子がある場合は、USB 3.x 端子に接続してください。

\*2：入力検出機能が「自動」に設定されている場合、コンピューターの接続後に自動で端子が切り替わります。

## USB Type-C でコンピューターに接続

- USB Type-C 端子を使用する場合、USB 対応ロゴがついた SuperSpeed USB (USB 3.2 Gen 1) ケーブルを使用してください。
- Hi-Speed USB (USB 2.0) ケーブルまたは充電ケーブルでは、映像表示や音声の再生をサポートしていません。
- USB Type-C 端子を使用する場合、DP Alt Mode 対応ロゴのあるコンピューターポートに接続してください。
- HDMI Alt Mode または MHL はサポートされていません。
- コンピューターのバッテリー充電（電力供給）を使用する場合は、USB Power Delivery 対応ロゴが付いているコンピューターとケーブルを使用してください。
- ディスプレイが USB 信号を認識するまで数秒かかります。信号が認識されている間は、USB ケーブルを抜き差ししないでください。

## HDMI でコンピューターに接続

- HDMI ケーブルは HDMI ロゴがついているものをご使用ください。
- HDMI 機器によっては、映像が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- ビデオカードまたはドライバーによっては映像を正しく表示することができない場合があります。
- 接続しているコンピューターの電源を入れ、そのあとに本機の主電源を入れると映像が表示されないことがあります。その場合は、接続しているコンピューターの電源を入れ直してください。

## USB 機器との接続

本機は、以下の USB ポートを装備しています。

USB (Type-A)： USB ダウンストリームポート (USB タイプ A)  
USB 対応のフラッシュメモリー、キーボード、アクティブペン用充電器などの USB 機器を接続します。

USB (Type-B)： USB アップストリームポート (USB タイプ B)  
本機とコンピューターを HDMI で接続した場合にコンピューターと接続します。

SERVICE PORT： サービスポートです。USB 機器は接続しないでください。

### ▲ 注意

USB ケーブルは束ねて（丸めて）固定せずに使用してください。ケーブルが発熱して火災の原因となるおそれがあります。

### お知らせ

- USB ケーブルのコネクタ形状および向きをよく確かめてから接続してください。
- USB 機能は使用するコンピューターの BIOS や OS、周辺機器によっては動作しない場合があります。この場合は、まず各使用機器の取扱説明書を確認したり、各機器のメーカーにお問い合わせください。
- 本機がコンピューターに認識されるまでに数秒かかることがあります。認識される前に USB ケーブルを抜いたり、短時間に抜き差しを繰り返さないでください。
- 以下の場合は事前に本機に接続した USB 機器を停止させて取り外してください。一部の USB 機器の場合、この操作を忘れると機器の破損やデータの消失の原因になる場合があります。
  - 本機の電源スイッチをオフにする場合
  - 本機の入力端子を切り替える場合
  - Windows® のシャットダウンを実行する場合

## LAN でネットワークに接続

ネットワークに接続することにより、時刻設定\*、ファームウェアの更新\*、コマンドによる制御ができます。

- LAN ポートに市販の LAN ケーブルを接続してください。
- 本機に IP アドレスを設定してください (30 ページ参照)。

\*: インターネット接続環境が必要です。

## 入力検出機能

本機は標準設定で入力検出機能 \*1 が有効になっています。

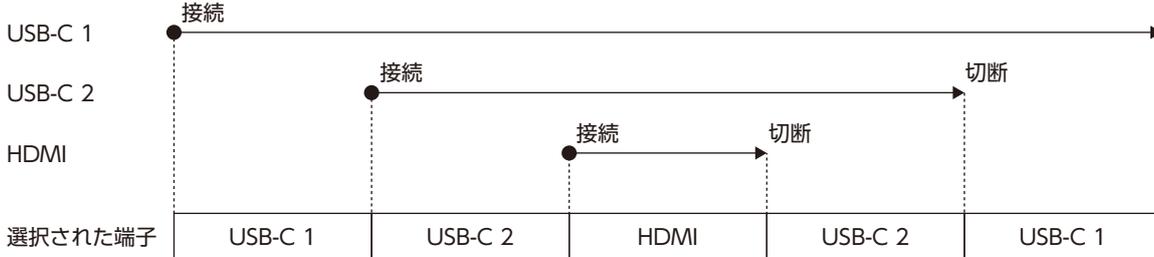
- 入力端子に信号を接続した場合、該当する端子に自動で切り替わります。
- すでに別の入力端子に信号が接続されている場合には最後に接続した端子に切りかわります。
- 現在、表示している入力信号が無信号（切断、コンピューターのシャットダウン等により）となった場合、1 つ前に表示していた端子 \*2 に自動で切り替わります。

\*1：入力検出機能は「アドバンスド設定」の「その他の設定」, 「入力検出」からオン / オフすることが可能です。

\*2：1 つ前に表示していた端子も無信号の場合、さらに 1 つ前に端子に信号入力がある場合はそちらに切り替わります。どちらも無信号の場合、端子は切り替わりません。

### 例

接続順



## コンピューターのサウンド設定について

本機をコンピューターに接続すると、2 つのスピーカーデバイスが認識されます。コンピューターのサウンド設定で USB Speaker (WD551 Audio) を選択してください \*1。

USB Speaker (WD551 Audio)  
WD551 (-----\*2)

\*1：WD551(-----) を選択した場合、本機とコンピューターの音声ミュートの表示状態が一致しないことがあります。

\*2：「-----」 の表示内容は、お使いのコンピューターにより異なります。

### お知らせ

本機は会議に適したモードと動画視聴などに適したモードの 2 つの音声再生モードを持っています。これらのモードはコンピューター上のマイクの選択により自動的に切り替えられます。

コンピューターのサウンド設定で本機のマイク (Microphone (WCD Audio)) を選択した場合  
音声はモノラルで再生され、エコーキャンセルが有効になります。  
テレビ会議用途などに適しています。

コンピューターのサウンド設定で本機のマイク以外を選択した場合  
音声はステレオで再生され、サブウーファーが有効になります。最大音量が大きくなります。  
動画の視聴などに適しています。

2 つの音声モードを自動的に切り替えるかわりに、このモードに設定を固定することができます。(31 ページ参照)

## 動作モード

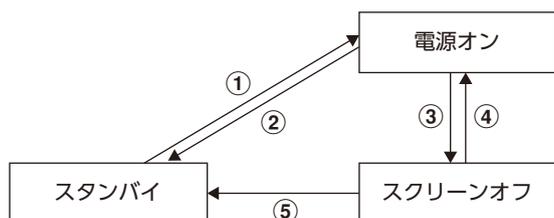
動作モード	状態
電源オン	全ての機能が使用できる状態です。
スクリーンオフ	電源オンモードから画面表示のみオフにした状態です。センサー機能は有効です* <sup>1</sup> 。
スタンバイ	画面表示、センサーが無効になり、消費電力を抑えた状態です。

各モードでの消費電力は [42 ページ](#)を参照してください。

\*1：スタンダードモード動作時はセンサー機能は無効になります。

### 動作遷移 (WCD モードに設定した場合)

動作モードは以下のように切り替わります。



#### ① スタンバイ → 電源オン

- ・ スタンバイ状態で本機、またはリモコンの ボタンを押す

#### ② 電源オン → スタンバイ

- ・ リモコンの ボタンを押す \*<sup>2</sup>
- ・ 本機の ボタンを長押し (2 秒以上) する \*<sup>2</sup>

#### ③ 電源オン → スクリーンオフ

- ・ 映像信号がなく、人感センサーが人を検出していない \*<sup>3</sup> \*<sup>4</sup>
- ・ リモコンの ボタンを押す
- ・ 本機の ボタンを短く押す

#### ④ スクリーンオフ → 電源オン

- ・ 映像信号が入力された。もしくは、人感センサーで人を検出した
- ・ リモコンの ボタンを押す
- ・ 本機の ボタンを押す
- ・ 画面をタッチする

#### ⑤ スクリーンオフ → スタンバイ \*<sup>4</sup>

- ・ リモコンの ボタンを押す
- ・ 本機の ボタンを長押し (2 秒以上) する

\*<sup>2</sup>：確認メッセージが表示されます。スタンバイへの移行をキャンセルすることができます。

\*<sup>3</sup>：映像信号ない状態が設定した時間 ([31 ページ](#)参照) 継続し、かつ人感センサーが 30 秒以上検出していない場合。

\*<sup>4</sup>：操作後、約 10 秒でスタンバイへ移行します。

### お知らせ

スタンダードモード ([31 ページ](#)参照) に設定時、電源オンで映像信号がない場合にはスタンバイへ移行します。

# On Screen Display (OSD) 機能

OSD メニューは次の方法で開くことができます。

- 画面の中央部で、下から上へ指でスワイプする
- リモコンの MENU ボタンを押す

## OSD 設定

### 基本設定



メニュー	機能	
基本設定 (…)	基本設定メニューを開きます。	
入力	USB-C 1	USB-C 1 の入力を選択します。
	USB-C 2	USB-C 2 の入力を選択します。
	HDMI	HDMI の入力を選択します。
バックライト	画像の明るさをバックライトで調節します。	
スピーカーミュート	スピーカーミュートの有効 / 無効を切り替えます *1。	

\*1：出力デバイスの設定により、ミュート状態とミュート表示が一致しないことがあります。  
この場合、コンピューターのサウンド設定より出力デバイスを [USB Speaker (WD551 Audio)] に設定してください。

## 基本設定



メニュー	機能	
映像設定	ピクチャーモード	使用する環境に適した映像設定ができます。
		Standard   ディスプレイのデフォルト設定です。
		Bright   全体的に明るい設定。
		Soft   全体的にソフトな設定。
	色温度	色温度を調節します。
		Standard   標準です。
		寒色   青みを帯びます。 暖色   赤みを帯びます。
音声	音量	音量を調節します。
	スピーカーミュート	<input type="checkbox"/>   ミュート状態を解除して、音量を設定値に戻します。
		<input checked="" type="checkbox"/>   音量をミュートにします。
	マイクミュート	<input type="checkbox"/>   マイク入力をオンにします。
<input checked="" type="checkbox"/>   マイク入力をオフにします。		
言語選択	言語選択	OSD に使用する言語を選択します。 言語：English、Deutsch、Français、Italiano、Español、Svenska、Русский、 中文、日本語
センサーデータ	ディスプレイ周囲の温度、湿度、eCO <sub>2</sub> レベル *1、照度、人感センサーのステータスを表示します。表示される各センサーの値は、本機に搭載されたセンサー位置（17 ページ参照）で取得した情報です。本機を設置した実際の室内環境の値と一致しないことがあります。	
情報	ディスプレイ情報、入力信号情報、システム情報を表示します。 また、ここからアドバンスメニューを開くことができます。	

\*1：本機に搭載しているエアクオリティセンサーはTVOC(総揮発性有機化合物)を測定するものです。  
「eCO(equivalent CO<sub>2</sub>)レベル」はTVOC値を元に換算した二酸化炭素相当値です。  
特にアルコールなどの揮発性物質が多い環境では実際の二酸化炭素濃度と大きく異なる場合があります。

アドバンスト設定は基本設定の情報タブ内にあるアドバンストボタンから開くことができます。  
 高度な設定を含むため、必要時のみ操作してください。

## OSD 設定

### アドバンスト設定



メニュー	機能		
日付 / 時刻設定 * <sup>1</sup>	ネットワーク時間	<input type="checkbox"/>	手動で時間を設定します。
		<input checked="" type="checkbox"/>	ネットワークから自動的に時間を取得します。
	日付	ネットワーク時間が <input type="checkbox"/> の場合、年月日を設定します (YYYY, MM, DD)。	
	時間	ネットワーク時間が <input type="checkbox"/> の場合、時間を設定します。	
	タイムゾーン	ディスプレイを使用する地域のタイムゾーンを選択します。	
	Customer Ntp Server	優先的に使用したい NTP サーバーがある場合に使用します。IP アドレスまたはホスト名で設定することができます。	
ネットワーク * <sup>2</sup>	DHCP	<input type="checkbox"/>	IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイは自動で割り当てられません。手動で設定してください。
		<input checked="" type="checkbox"/>	本機を接続するネットワークが、DHCP サーバーによって IP アドレスを自動的に割り当てます
	IP アドレス	[DHCP] が <input type="checkbox"/> の場合に、本機を接続するネットワークにおける本機の IP アドレスを設定します。	
	サブネットマスク	[DHCP] が <input type="checkbox"/> の場合に、本機を接続するネットワークにおける本機のサブネットマスクを設定します。	
	デフォルトゲートウェイ	[DHCP] が <input type="checkbox"/> の場合に、本機を接続するネットワークにおける本機のデフォルトゲートウェイを設定します。	
	自動 DNS	<input type="checkbox"/>	本機を接続するネットワークの DNS サーバーの IP アドレスは自動で割り当てられません。手動で設定してください。
		<input checked="" type="checkbox"/>	本機を接続するネットワークが DNS サーバーによって IP アドレスを自動的に割り当てます。
	DNS	本機を接続するネットワークの優先 DNS サーバーの IP アドレスを設定します。	
MAC アドレス	MAC アドレスを表示します。		
Apply	[Apply] を選択すると設定が反映されます。		
クラウド設定 * <sup>4</sup> , * <sup>6</sup>	クラウドサービス	有効	クラウド接続機能を有効化してテレメトリ情報を送信します。
		無効	クラウド接続機能を無効化します。
	テレメトリデータ送信間隔	テレメトリデータの送信間隔を設定します。10 ~ 120 分の間で 10 分刻みで設定できます。	

電源	オートパワーオン	信号検出		信号が入力されても、ディスプレイは自動的にオンにはなりません。
				本機がスクリーンオフで信号が入力された場合、ディスプレイは自動的にオンになります。
		人感センサー		人感センサーで人を検出しても、ディスプレイは自動的にオンにはなりません。
				本機がスクリーンオフで人感センサーで人を検出した場合、ディスプレイは自動的にオンになります。
	オートスタンバイ	オフ	電源オン状態を維持します。	
		5、15、30分	設定した時間、無信号が続いた場合にディスプレイはスクリーンオフ*3に移行します。	
その他の設定	WCD モード	WCD モード	Windows collaboration display としての機能を有効にします。通常はこちらを使用してください。	
		スタンダードモード	Windows collaboration display としての機能は無効になります。待機時の消費電力を抑えることができます。	
	入力検出	自動	ディスプレイは最後に接続された入力端子に自動的に切り替わります。	
		手動	入力端子は自動で切り替わりません。	
	Source Select	許可	 ボタンの機能を有効にします	
		禁止	 ボタンの機能を無効にします	
	デフォルト入力	オフ	ディスプレイの起動時、前回のオフ時に選択されていた端子が表示されます。	
		USB-C 1	ディスプレイの起動時、USB-C 1 端子が表示されます。	
		USB-C 2	ディスプレイの起動時、USB-C 2 端子が表示されます。	
		HDMI	ディスプレイの起動時、HDMI 端子が表示されます。	
	アスペクト	標準	比率を変えずに、できるだけ大きく表示します。	
		1:1	画像サイズそのままに表示します。入力信号の解像度が推奨解像度を超える場合、画像サイズを小さくし画面に合うよう表示します。	
	EDID	60Hz	リフレッシュレートが 50Hz 未満の映像信号は表示されません。	
		Auto	リフレッシュレートが 23-60Hz の映像信号が表示可能です。	
	オーバースキャン	オフ	入力信号のほぼ 100% を表示します。信号によっては、画面の端にノイズが出ることがあります。  <b>お知らせ</b> HDMI 出力に対応したコンピューターと接続して使用する場合は、「オフ」にしてください。	
		オン	入力信号の約 95% を表示します。	
	起動ロゴ	ロゴ	起動時に NEC のロゴを表示します。	
		ブラックバック	起動時に黒画面を表示します。	
		ブルーバック	起動時に青画面を表示します。	
	音声モード*4	自動	音声再生モードの選択を自動的に選択します。 コンピューターのサウンド設定で本機のマイクを選択した場合：音声はモノラルで再生され、エコーキャンセルが有効になります。 コンピューターのサウンド設定で本機のマイク以外を選択した場合：音声はステレオで再生され、サブウーファーが有効になります。最大音量が大きくなります。	
音量大*5		コンピューターのサウンド設定にかかわらず、音声はステレオで再生され、サブウーファーが有効になります。最大音量が大きくなります。		
USB-C カメラ接続*4	自動	通常はこちらを使用します。		
	USB2.0	カメラなどの動作が不安定なときに選択してください。この場合、カメラの通信は USB2.0 に固定されます。		
情報	ファームウェア 2 のバージョン、使用時間、起動回数の情報を表示します。			

Firmware	Firmware version	「詳細」を選択するとファームウェアバージョンの詳細を表示します。		
	Firmware Reset	「Reset」を選択するとファームウェアが工場出荷状態に戻ります。		
	Firmware Update	ファームウェアの更新ができる場合、「Update」が有効になります。「Update」を選択するとファームウェアの更新を開始します。		
	自動アップデート	オン	指定された時間に自動的にファームウェアを更新します。	
		オフ	自動的なファームウェアの更新はしません。	
	アップデート開始時間	ファームウェアを自動アップデートする時間を設定します。		
	Update Message	オン	ファームウェアの更新ができる場合、Update message を表示します。ファームウェアの自動更新はしません。「自動アップデート」が「オフ」の時に選択できます。	
オフ		Update message を表示しません。		

- \*1：本機の主電源オフ状態が1週間程度続いた場合、設定した時間がリセットされます。必要に応じて再設定してください。
- \*2：ネットワーク項目のIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSの設定にはリモコンの数字ボタンを使用してください。
- \*3：WCDモード設定時。スタンダードモードではスタンバイに移行します。
- \*4：ファームウェアバージョン 20220601\_172206 以降の機能です。
- \*5：マイクを使ったときにハウリングを起こす可能性があります。
- \*6：日本国内でのクラウドサービス提供は未定です。

# 外部制御

## 接続インターフェース

### 外部機器を接続する

外部機器の接続方法は二通りあります。

- RS-232C 端子を使用する。  
外部機器を RS-232C ケーブルで本機の RS-232C 端子に接続します。
- LAN ポートを使用する。  
外部機器を LAN ケーブルで本機の LAN ポートに接続します。  
使用する LAN ケーブルについてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

### 制御コマンド

その他のコマンドは、当社 Web サイトの External\_Control\_J.pdf を参照ください。

機能 (モニター ID = 1)	コード
電源オン *	01 30 41 30 41 30 43 02 43 32 30 33 44 36 30 30 30 31 03 73 0d
電源オフ *	01 30 41 30 41 30 43 02 43 32 30 33 44 36 30 30 30 34 03 76 0d
HDMI の入力を選択	01 30 41 30 45 30 41 02 30 30 36 30 30 30 31 31 03 72 0d
USB-C 1 の入力を選択	01 30 41 30 45 30 41 02 30 30 36 30 30 30 38 39 03 73 0d
USB-C 2 の入力を選択	01 30 41 30 45 30 41 02 30 30 36 30 30 30 38 41 03 0B 0d
音声ミュートオン	01 30 41 30 45 30 41 02 30 30 38 44 30 30 30 31 03 09 0d
音声ミュートオフ	01 30 41 30 45 30 41 02 30 30 38 44 30 30 30 32 03 0A 0d

\* LAN コントロールでは、「電源オン」と「電源オフ」をサポートしていません。

## RS-232C リモートコントロール

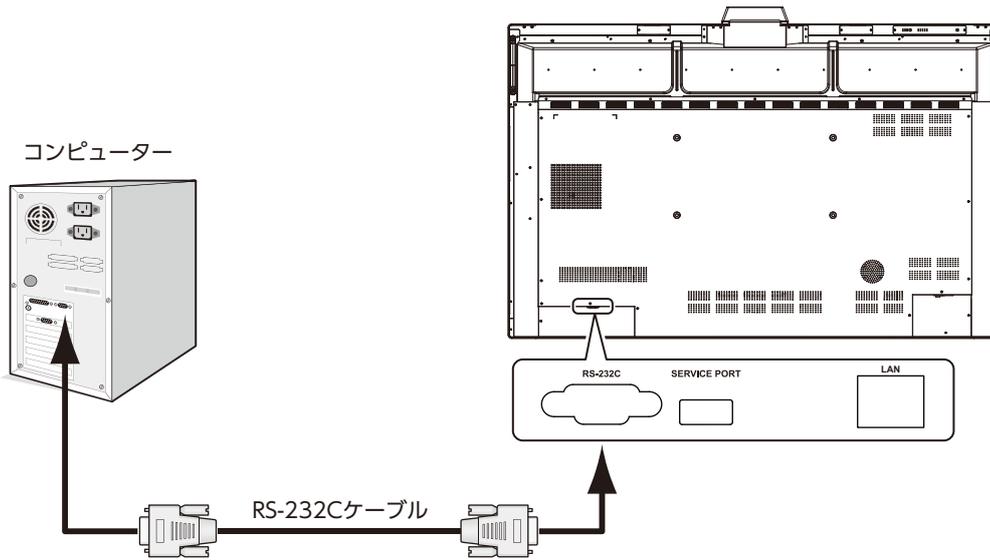
本機の RS-232C 端子とコンピューターの RS-232C 端子をリバースタイプ（クロスタイプ）の RS-232C ケーブル（市販）で接続するとコンピューターから次のような操作が可能になります。

- 電源を入れるまたは本機をスタンバイ状態にする
- 入力の切り替え
- ミュート（消音）の切り替え

### 接続方法

本機とコンピューター

- 接続するときはコンピューターと本機の主電源を切ってください。
- 最初にコンピューターを立ち上げてから本機の主電源を入れてください。（電源を入れる順序が逆になると com ポートが正常に動作しない場合があります。）



### お知らせ

- コンピューターの 25 ピンシリアルポートと接続する場合は変換アダプターが必要です。
- 変換アダプターについてはお買い上げの販売店へお問い合わせください。
- ピン配列については「RS-232C input/output」を参照してください。

### インターフェース

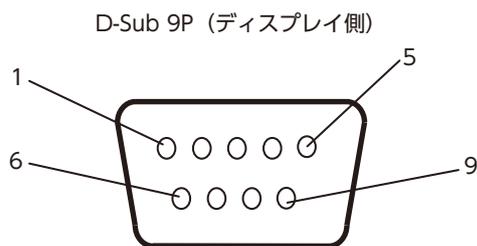
プロトコル	RS-232C
ボーレート	9600 [bps]
データ長	8 [bits]
パリティ	NONE
ストップビット	1 [bit]
フロー制御	NONE

本機は RS-232C コントロール用として RXD、TXD および GND ラインを使用します。リバースタイプ（クロスタイプ）の RS-232C ケーブル（市販）を使用してください。

## ピンの配列

### RS-232C input/output

Pin No	Name
1	NC
2	RXD
3	TXD
4	NC
5	GND
6	NC
7	NC
8	NC
9	NC



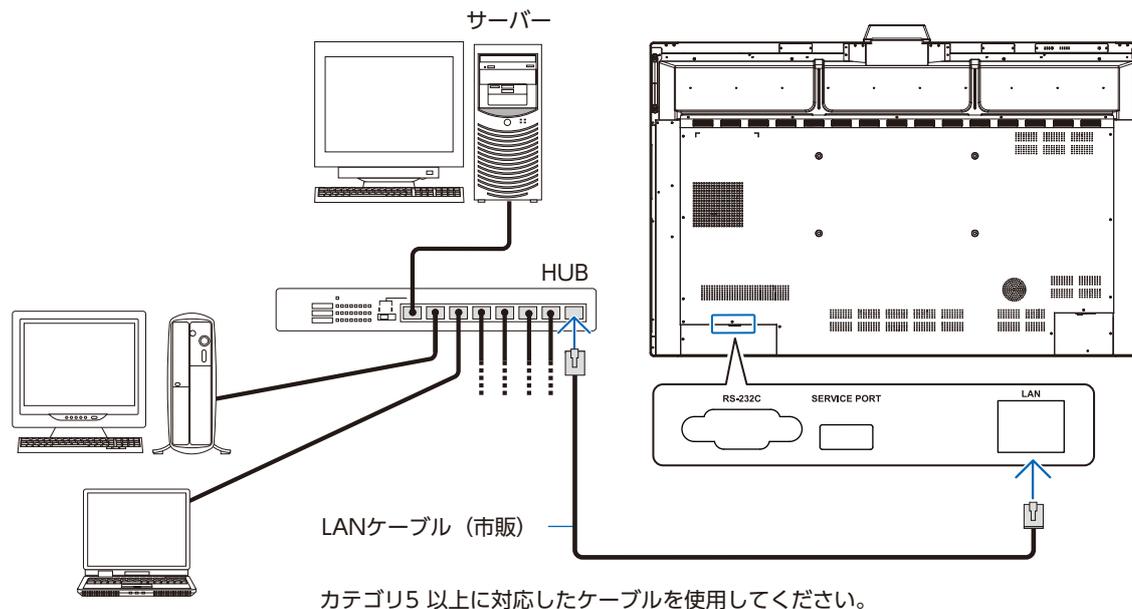
ディスプレイは RS-232C の制御に RXD、TXD、GND を使用します。

## LAN コントロール

本機には LAN ポート (RJ-45) が標準装備されています。本機をネットワークに接続すると、コンピューターからネットワークを経由して本機を制御することができます。本機を LAN 環境で使用する場合は、本機に IP アドレスなどを設定する必要があります (30 ページ参照)。

DHCP ネットワークに接続した場合自動的に本機の IP アドレスを取得します。

### 接続例



### インターフェース

プロトコル	TCP
ポート番号	7142
通信速度	自動設定 (10/100Mbps)

# ファームウェア更新

---

インターネットに接続することによりファームウェアを更新することができます。  
[アドバンスド設定] の [Firmware] で設定します。

新しいファームウェアがあるとき [Update] ボタンが有効になります。  
[Update] ボタン選択するとファームウェアを更新します。

## 自動アップデート機能\*

新しいファームウェアがあるとき指定した時刻に自動的にファームウェアを更新します。  
[自動アップデート] の [オン] を選択するとこの機能が有効になります。[アップデート開始時間] で開始時間を設定します。

## メッセージ表示機能\*

新しいファームウェアがあるとき更新するかどうかを選択するメッセージを表示します。  
[Update Message] の [オン] を選択するとこの機能が有効になります。



\*: 自動アップデート機能とメッセージ表示機能は同時に使用できません。

# 故障かな？と思ったら…

このようなときは、チェックしてください。

## 表示されないときは…

症状	状態	原因と対処	参照
画面に何も映らない	電源ランプが点灯しない場合	電源コードが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	
		電源コンセントに正常に電気が供給されているか、別の機器で確認してください。	
		主電源スイッチがオフになっている可能性がありますので、確認してください。	
	電源ランプが青色に点灯している場合	信号入力が無い入力コネクタが選択されている可能性があります。入力切り替えボタンを押して、入力コネクタを切り替えてください。	
		OSD 画面を表示し、以下の項目を確認してください。	
		● OSD 画面が表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または修理受付 / アフターサービス窓口にご相談ください。	
● OSD 画面が正常に表示されれば故障ではありません。「基本設定」の「バックライト」を調節してください。			
	● OSD 画面が正常に表示され、「バックライト」を調節しても画面が表示されない場合は、接続している機器が正しい動作状態にあることを確認してください。コンピューターと接続している場合は、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。		
	USB Type-C ケーブルで接続している場合、コンピューターのポートが DisplayPort Alt Mode に準拠していることを確認してください。準拠していない場合は映像表示はおこなえません。		
	USB Type-C ケーブルで接続している場合、ケーブルが SuperSpeed USB (USB 3.2 Gen 1) に準拠していることを確認してください。準拠していない場合は映像表示はおこなえません。		
電源ランプが青色以外に点灯もしくは点滅している場合		パワーマネジメント機能が作動している可能性があります。キーボードの適当なキーを押すか、マウスを動かす、またはリモコンの POWER ON ボタンを押してください。	
		信号ケーブルが本機または接続機器のコネクタに正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	
		接続しているコンピューターや映像機器の電源が入っていない可能性がありますので、確認してください。	
画面が表示されなくなった	正常に表示されていた画面が、暗くなったり、ちらつくようになったり、表示しなくなった場合*	新しい液晶パネルとの交換が必要です。販売店または修理受付 / アフターサービス窓口にご相談ください。	

※ ディスプレイに使用しているバックライトには寿命があります。

## 表示がおかしいときは…

症 状	原因と対処	参照
画面上に黒点（点灯しない点）や輝点（点灯したままの点）がある	液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
画面表示の明るさにムラがある	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
画面に薄い縦縞の陰が見える	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
細かい模様を表示するとモアレが生じる	細かい模様を表示するとこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
画面を見る角度によって色がおかしい	視野角（画面を見る角度）によっては、色相の変化が大きくなります。	
画面の表示状態が変わっていく	ディスプレイは使用時間の経過に伴い表示状態が少しずつ変化します。また周囲の温度によっては画面の表示状態に影響を受けることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
画面を切り替えても前の画面の像が薄く残っている	長時間同じ静止画面を表示すると、このような残像が起こることがあります。本機をリモコンの <b>U</b> ボタンでスタンバイもしくは、スクリーンオフにするか、変化する画面を表示していれば、像は 1 日程度で自然に消えます。長時間に渡って静止画面を表示すると、残像が消えなくなる場合がありますが、故障ではありません。使用しないときには電源を切ることをおすすめします。	
表示色がおかしい	OSD 画面を表示し、以下の項目を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● OSD 画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または修理受付 / アフターサービス窓口にご相談ください。</li> <li>● OSD 画面が正常に表示されれば故障ではありません。「映像設定」を選択し、お好みで色を調節してください。</li> <li>● OSD 画面が正常に表示され、「映像設定」を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。</li> </ul>	
画面がざらつく（上記以外の場合）、または映像が一瞬途切れる	中継器、分配器、長いケーブルをご使用した場合、画面のざらつきや映像が一瞬途切れることがあります。ご使用のケーブルをシールド付きの物に交換する、もしくは中継器、分配器を使用せずに直接ディスプレイ本体にケーブルを接続してください。ツイストペアケーブル延長器をご利用の際はシールド付きケーブルに対応したものをご使用ください。また、使用環境や使用ケーブルによって画面にノイズが現れたり映像が途切れることがあります。このような場合、当社 Web サイト内「ディスプレイの設置と接続に関するご注意」をご確認ください。 OSD 画面を表示し、以下の項目を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● OSD 画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または修理受付 / アフターサービス窓口にご相談ください。</li> <li>● HDMI 入力を使用し、解像度 3840 × 2160 または 4096 × 2160 にて入力した際に映像が途切れる場合は、4k 対応の HDMI ケーブルをご使用ください。</li> <li>● OSD 画面が正常に表示されれば故障ではありません。コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。</li> </ul>	
自動的に電源が切れてしまう	「オートスタンバイ」の設定を確認してください。設定を「オフ」にしてください。 *スタンダードモードの場合、オートスタンバイ設定をオフにすることはできません。	
画面が乱れる	電源を入れたとき、または設定を変更したときに画像が乱れることがありますが、故障ではありません。	

## その他（コンピューターと接続している場合）

症状	原因	対処
解像度や色数の変更ができない／固定されてしまう	うまく信号が入出力できないことがまれにあります。	本機とコンピューターの電源をいったん切り、もう一度電源を入れ直してください。
	ビデオカードのドライバーが OS に正しく認識されていない可能性があります。	ビデオカードのドライバーを再インストールしてください。再インストールに関しては、コンピューターの取扱説明書を参照いただくか、コンピューターのサポート機関にお問い合わせください。
接続している USB 対応周辺機器が認識されない 正常に動作しない	Windows® をお使いの場合： USB 対応周辺機器のデバイスドライバーが正常に組み込まれていない（ドライバーインストールが必要な USB 対応周辺機器のみ）	USB 対応周辺機器のデバイスドライバーを組み込んでください。デバイスマネージャーで“不明なデバイス”と表示される場合は、“不明なデバイス”をデバイスマネージャー上で削除し、USB 対応周辺機器のデバイスドライバーを組み込んでください。
	非対応のポートに USB 対応周辺機器を接続している可能性があります。	USB ダウンストリームポート（タイプ A）端子に機器が接続されていることを確認してください。
	コンピューターによっては挿抜による USB 接続に一定の時間を必要とします。	ケーブルの挿抜をおこなう場合、10 秒以上の間隔をあけて再接続してください。
USB ポートを多段接続（複数台の連続接続）したあとに、USB 対応周辺機器を接続すると、USB 対応周辺機器が正常に動作しない	USB 対応周辺機器が、USB ポートの多段接続に対応していない。	USB 対応周辺機器をコンピューターに近い USB ポートに接続してください。
本機に接続したコンピューターから本機のタッチ、カメラ、スピーカー、マイクなどが認識されない、または不安定。	接続したコンピューターで認識されないことがまれにあります。	USB Type-C ケーブル、または、HDMI との組み合わせで接続している USB-B ケーブルをいったん抜き、接続し直してください。改善されない場合、「アドバンスト設定」の「その他の設定」で「USB カメラ接続」を「USB 2.0」に設定してください。
4k 表示ができない	接続するコンピューターが 3840 × 2160 60Hz に対応していない場合、本機の設定により解像度が下がることがあります。	「アドバンスト設定」の「その他の設定」より「EDID」を「Auto」に設定することで 3840 × 2160 30Hz で表示が可能です。

## その他（リモコン、スピーカー）

症状	原因と対処	参照
リモコンで操作できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● リモコンの乾電池が消耗していませんか。電池が消耗してくると、操作できる距離が徐々に短くなります。早めに新しい電池に交換してください。</li> <li>● リモコン受光部に直射日光や強い照明が当たっているとリモコンが動作しにくくなります。</li> <li>● リモコンとリモコン受光部との間に障害物があると、操作できないことがあります。</li> <li>● 蛍光灯などが近くにある場合は、動作しにくいことがあります。</li> <li>● 誤作動防止のために、エアコンやステレオコンポなど他の機器のリモコンと同時に使用しないでください。</li> <li>● 本機はリモコン識別 ID 機能を備えておりません。複数台設置している場合は、他の機器に影響を与えないように対象の機器のリモコン受光部の近くでリモコンを操作してください。</li> <li>● ディスプレイ本体に正しく向けていますか。</li> </ul>	P.12
映像は出るが、音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 消音状態になっていませんか。OSD またはリモコンのミュートボタンを押して、音が出るかどうかを確認してください。</li> <li>● 音量が最小になっていませんか。本体の＋ボタンまたはリモコンの音量調節プラスボタン（+）、音量調節マイナスボタン（-）で音量を調節してください。</li> </ul>	P.17 P.19 P.29

## その他（RS-232C または LAN で接続している）

症状	原因と対処	参照
RS-232C で制御できない	リバースタイプ（クロスタイプ）の RS-232C ケーブルが正しく接続されているかを確認してください。	P.34
LAN で制御できない	LAN ケーブル（カテゴリ 5 以上）が正しく接続されているかを確認してください。	P.35
	ネットワーク設定が正しく設定されているか確認してください。	P.30

## その他（アクティブペン操作時）

症状	原因と対処	参照
アクティブペン操作時、擦過音が出る	ペン先とタッチガラスの摩擦で、擦過音が発生する場合があります。気になる場合は、指で操作してください。（書き込みはアクティブペンを利用してください。）	P.21

## 映像機器を使用するとき

症 状	原因と対処	参照
映像も音も出ない	プレーヤーなどの外部機器は正しく接続し、正しく操作していますか。詳しくは外部機器の取扱説明書をご覧ください。	P.23
	本機のパワーマネジメント機能が作動している可能性があります。外部機器側が動作（再生）状態になっているかご確認ください。	P.27
色がつかない、色がおかしい	映像設定項目を調節してください。	P.29

## センサー機能を使用するとき

症 状	原因と対処	参照
人感センサーが正しく反応しない	人感センサーは室温が 30℃以上では感度が低下します。室温をご確認ください。	
表示温度と室温が一致しない	本機の温度はセンサー付近の温度です。室温とは必ずしも一致しません。	
エアクオリティセンサーの測定値が表示されない	エアクオリティセンサーは起動後 2 分程度は予熱動作のため、その間のデータは表示されません。予熱動作後に改めてご確認ください	

# 仕様 - 対応信号

## 対応信号一覧

本体の設定により、対応信号の設定 (Auto、60Hz) を切り替えることができます。  
設定は OSD で変更することが可能です。初期設定では 60Hz になっています。3840 × 2160 30 Hz で表示する場合は Auto に設定してください。

解像度	走査周波数		HDMI		USB Type-C	
	水平	垂直	Auto	60Hz	Auto	60Hz
640 × 480	31.5 kHz	60 Hz	YES	YES	YES	YES
800 × 600	37.9 kHz	60 Hz	YES	YES	YES	YES
1024 × 768	48.4 kHz	60 Hz	YES	YES	YES	YES
1280 × 720	45 kHz	60 Hz	YES	YES	YES	YES
1280 × 768	47.8 kHz	60 Hz	YES	YES	YES	YES
1280 × 800	49.7 kHz	60 Hz	YES	YES	YES	YES
1280 × 1024	64 kHz	60 Hz	YES	YES	YES	YES
1360 × 768	47.7 kHz	60 Hz	YES	YES	YES	YES
1440 × 900	55.9 kHz	60 Hz	YES	YES	YES	YES
1680 × 1050	65.3 kHz	60 Hz	YES	YES	YES	YES
1920 × 1080	67.5 kHz	60 Hz	YES	YES	YES	YES
3840 × 2160	67.4 kHz	30 Hz	YES	NO	YES	NO
3840 × 2160	135 kHz	60 Hz	YES	YES	YES	YES

### お知らせ

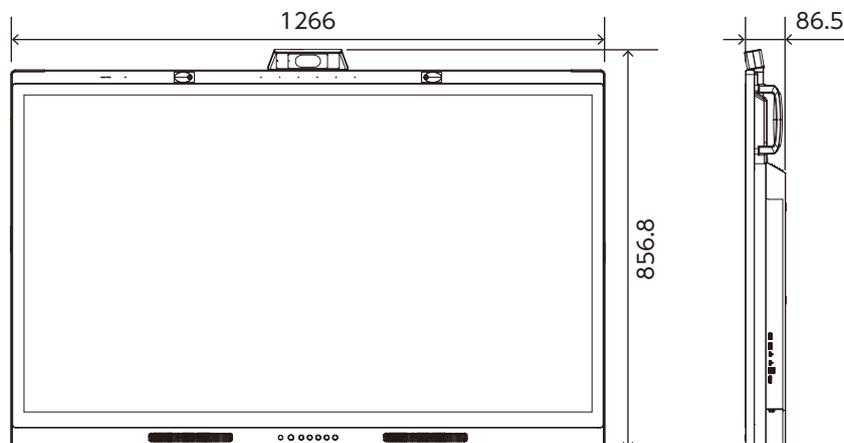
入力される信号の解像度によっては、文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。  
ビデオカードまたはドライバーによっては映像を正しく表示することができない場合があります。

# 仕様 - WD551

## Product Specifications

液晶方式	アクティブマトリクス方式カラー TFT 液晶			
有効表示領域	1209.60 (H) × 680.40 (V)			
表示画素数	UHD 3840 × 2160			
画素ピッチ	0.315mm			
表示色	1.07G (8bits + FRC)			
視野角 (標準値)	178° (上下、左右)			
輝度	400cd/m <sup>2</sup>			
コントラスト比 (標準値)	1200 : 1			
走査周波数	水平周波数	30kHz ~ 135kHz		
	垂直周波数	23 ~ 76Hz		
Pixel Clock	25.0-600MHz (DisplayPort by USB) 25.0-600MHz (HDMI)			
入力端子	DisplayPort	USB-C 1 コネクタ	デジタル RGB、YUV 信号	DisplayPort 規格 V1.4 準拠 (3840 × 2160 @ 60Hz、HDCP2.2/1.3)
		USB-C 2 コネクタ	デジタル RGB、YUV 信号	DisplayPort 規格 V1.4 準拠 (3840 × 2160 @ 60Hz、HDCP2.2/1.3)
	HDMI	HDMI コネクタ	デジタル RGB、YUV 信号	HDMI (3840 × 2160 @ 60Hz、HDCP2.2/1.4)
音声端子	オーディオ入力	USB-C 1 コネクタ	デジタル音声信号	PCM 32、44.1、48kHz (16/20bit)、2ch
		USB-C 2 コネクタ	デジタル音声信号	PCM 32、44.1、48kHz (16/20bit)、2ch
		HDMI コネクタ	デジタル音声信号	PCM 32、44.1、48kHz (16/20bit)、2ch
	オーディオ出力		N/A	
音声出力	内蔵スピーカー： 12W+12W (ステレオ) +15W (サブウーファー)			
制御信号	制御入力コネクタ		D-SUB 9ピン (RS-232C)	
	LAN		RJ45 10BASE-T/100BASE-TX × 1	
USB ポート	USB 3.2 Gen1		USB ダウンストリームポート (Type-A) × 2 USB アップストリームポート (Type-B) × 1	
電源	電源入力	AC100V、50/60Hz		
	入力電流	4.2A		
	消費電力	標準	155W* <sup>1</sup> (最大動作時：371W)	
		スタンバイ	0.5W 以下* <sup>1</sup>	
使用環境上限	温度	0 ~ 40°C		
	湿度	10 ~ 90% (結露のないこと)		
	高度	5000m (16404ft)		
保管環境条件	温度	-20 ~ 60°C		
	湿度	90% (40°C 以上 / 60% 未満) (結露のないこと)		
質量	約 31.5kg			

## 外形寸法



\*1：工場出荷時の設定条件

# リサイクルに関する情報

本製品は「資源有効利用促進法」に基づく指定再資源化製品です。希少資源の再利用のため、不要になった製品のリサイクルにご協力ください。詳しくは当社 Web サイトをご参照ください。

「ディスプレイのリサイクル」について

<https://www.nec-display.com/jp/environment/recycle/display.html>

## 法人のお客様（産業廃棄物として廃棄される場合）

当社は資源有効利用促進法に基づき、回収・リサイクルシステムを構築し、積極的に資源の有効利用につとめています。回収・リサイクルのお見積り・お申し込みについては上記 Web サイトをご参照ください。

## 個人のお客様

“PC リサイクルマーク”のシールが貼り付けられている当社製品は、ご家庭からの排出時、新たな料金負担を頂くことなく、当社が責任を持って回収・リサイクルいたします。

※ “PC リサイクルマーク”のない製品は、排出時、お客様に回収・リサイクル料金をご負担頂きます。

※ 本機をご購入いただいた個人のお客様には、お申込みいただくことにより、無償で“PC リサイクルマーク”を提供いたします。

お申し込み方法は上記 Web サイトをご参照ください。



リサイクル

PC リサイクルマーク